

野洲市行政評価 成果指標測定

市民意識等調査アンケート

調査報告書

平成18年11月

目 次

調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査方法	1
3. 調査項目	1
4. 調査期間	1
5. 回収状況	1
一般アンケート	2
(1) 回答者の属性	2
1. 居住地	2
2. 年齢	2
3. 性別	3
4. 世帯人員	3
(2) 生涯学習について	4
5. 生涯学習活動の取り組み状況	4
5-1. 生涯学習の活動内容	4
6. 今後取り組んでいきたい生涯学習活動（複数回答）	5
7. 生涯学習活動への支援は充実しているか	6
(3) 青少年の健全育成について	7
8. 地域の青少年は健全か	7
(4) スポーツ活動について	8
9. 最近行ったスポーツ（複数回答）	8
10. スポーツを行う頻度	9
11. スポーツをほとんど行わなかった理由（複数回答）	9
(5) 健康づくり・福祉について	10
12. 健康づくりへの関心	10
13. 検診・健康診断	10
14. 健康づくり・健康保持対策は充実しているか	11
15. 高齢者・心身障害者等に対し地域は見守ってくれるか	12
(6) 防災・防犯について	13
16. 地震などの災害時の備え	13
17. 防犯に対して安全か	14
18. 悪質商法などに対する知識	15
19. 悪質商法などに関する相談窓口	16
(7) 環境について	17
20. 自然の眺望景観は優れているか	17
21. 街並みや沿道の景観は優れているか	18
22. 身近な水辺や緑は豊富にあるか	19
23. 家庭での省エネルギーなどの取り組み	20

(8)	商業の振興について	21
	24. 生活物資の購入先	21
	25. 市内で不便を感じる商業店舗 (複数回答)	22
(9)	都市基盤について	23
	26. 地域の道路は歩行者にとって安全か	23
	27. 市全体の道路は自動車が快適で走行しやすいか	24
	28. 駅への主な交通手段	25
	29. 路線バス・市内循環バスは便利で充実しているか	26
	30. 市内のJRは便利で充実しているか	27
	31. 日常生活環境について不安や不満なことは何か	28
(10)	情報共有・行政運営などについて	29
	32. 関心のある社会問題など (3つまでの複数回答)	29
	33. 関心のある社会問題に対し市行政の取組み状況や今後の方針などについて十分な情報提供がなされているか	30
	34. 関心のある社会問題について個人や団体、地域の意見を市行政に充分伝えることができているか	31
	35. 市職員の応接態度や対応への感想	32
	36. 市の事業や手続きなどに不合理や非効率とを感じる点はあるか	33
(11)	人権問題や男女共同参画について	34
	37. 「聞き合わせ」の是非	34
	38. 「聞き合わせ」を受けた場合の対応	35
	39. 自分自身や子どもが結婚したい相手が部落の人だと分かった時どうするか	37
	39. 男女共同参画社会は定着しているか	38
	保護者アンケート	40
(1)	回答者の属性	40
	1. 居住地	40
	2. 養育している子どもの年齢 (複数回答)	40
(2)	子育て・子育てについて	41
	3. 子育て・子育てに不安を感じることはあるか	41
	4. 子育て・子育てのどんなことに不安を感じるか (複数回答)	42
	5. 少子化の主な原因は何か (3つまでの複数回答)	43
	6. 子育て・子育てについての福祉・支援対策は充実しているか	44
	7. 子どもの学年	45
	8. 子どもは楽しく充実した学校生活を送っているか	45
	9. 野洲市の学校教育は充実しているか	46

調査の概要

1. 調査の目的

総合計画において取り組む行政評価制度の成果指標を測定することを目的として実施した。

2. 調査方法

調査対象者は、野洲市個人情報保護条例等の規定に則り、平成18年8月1日現在の住民基本台帳より無作為抽出した。

調査は、郵送による配布及び回収とした。

3. 調査項目

一般アンケート

- (1) 回答者の属性
- (2) 生涯学習について
- (3) 青少年の健全育成について
- (4) スポーツ活動について
- (5) 健康づくり・福祉について
- (6) 防災・防犯について
- (7) 環境について
- (8) 商業の振興について
- (9) 都市基盤について
- (10) 情報共有・行政運営などについて
- (11) 人権問題や男女共同参画について

保護者アンケート

- (1) 回答者の属性
- (2) 子育て・子育てについて

4. 調査期間

平成18年8月12日から8月31日

(但し、9月12日まで返送されたものを含む)

5. 回収状況

一般アンケート	配布2,000票	回収	910票	回収率45.5%
保護者アンケート	配布1,000票	回収	546票	回収率54.6%

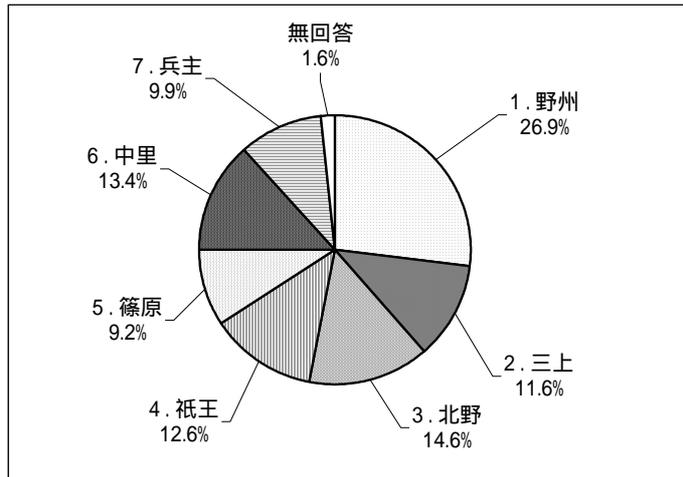
一般アンケート

(1) 回答者の属性

1. 居住地

回答者の居住地は、野洲学区が245人（26.9%）、次いで北野学区が133人（14.6%）となっている。

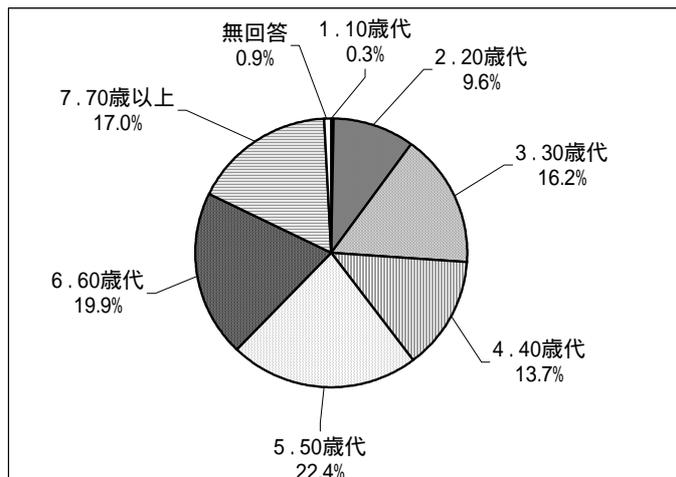
1. 野州	245	26.9%
2. 三上	106	11.6%
3. 北野	133	14.6%
4. 祇王	115	12.6%
5. 篠原	84	9.2%
6. 中里	122	13.4%
7. 兵主	90	9.9%
無回答	15	1.6%
計	910	100.0%



2. 年齢

回答者の年齢は50歳代が最も多く204人（22.4%）を占め、次いで60歳代が181人（19.9%）となっている。

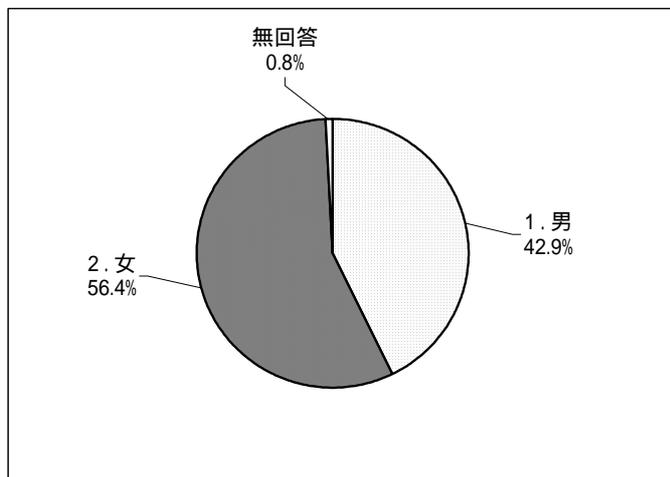
1. 10歳代	3	0.3%
2. 20歳代	87	9.6%
3. 30歳代	147	16.2%
4. 40歳代	125	13.7%
5. 50歳代	204	22.4%
6. 60歳代	181	19.9%
7. 70歳以上	155	17.0%
無回答	8	0.9%
計	910	100.0%



3. 性別

回答者の男女比は男性390人（42.9%）、女性513人（56.4%）で、女性の方がやや多くなっている。

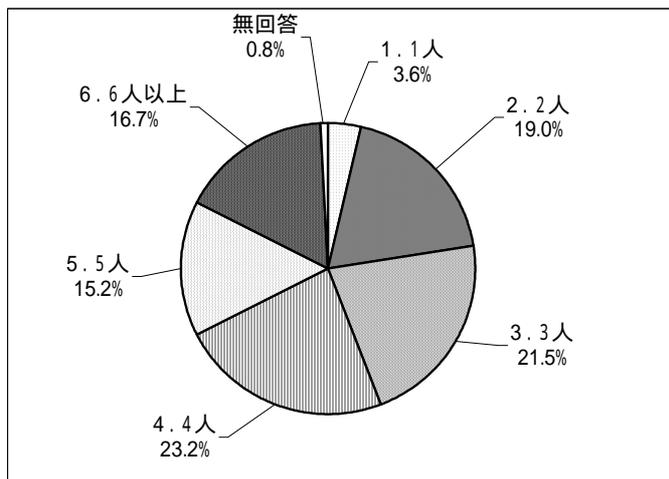
1. 男	390	42.9%
2. 女	513	56.4%
無回答	7	0.8%
計	910	100.0%



4. 世帯人員

回答者の世帯人員は4人が最も多く211人（23.2%）を占め、次いで3人が196人（21.5%）となっている。

1. 1人	33	3.6%
2. 2人	173	19.0%
3. 3人	196	21.5%
4. 4人	211	23.2%
5. 5人	138	15.2%
6. 6人以上	152	16.7%
無回答	7	0.8%
計	910	100.0%

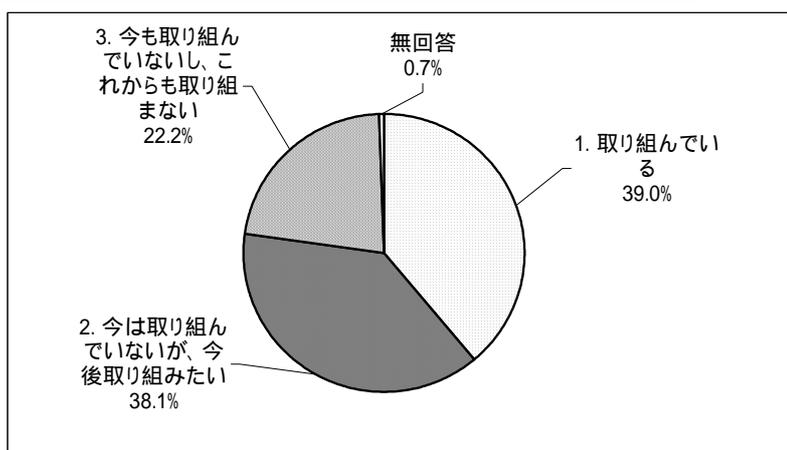


(2) 生涯学習について

5. 生涯学習活動の取り組み状況

生涯学習活動の取り組み状況としては、「取り組んでいる」が355人(39.0%)、「今後取り組みたい」が347人(38.1%)で、4分の3以上の方が生涯学習活動に関心を示している。

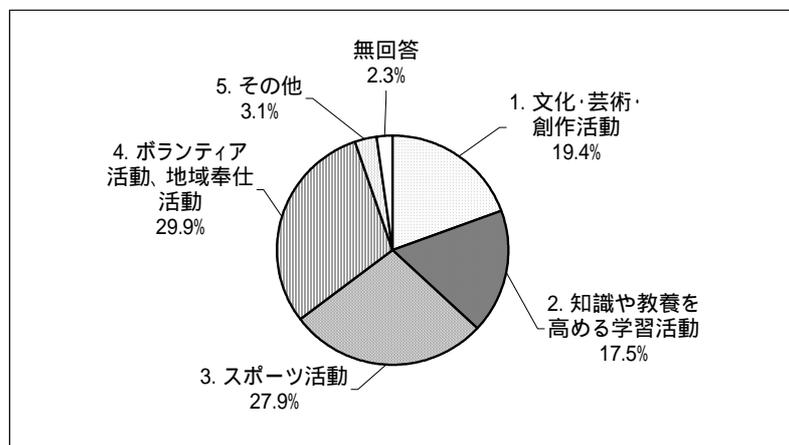
1. 取り組んでいる	355	39.0%
2. 今は取り組んでいないが、今後取り組みたい	347	38.1%
3. 今も取り組んでいないし、これからも取り組まない	202	22.2%
無回答	6	0.7%
計	910	100.0%



5-1. 生涯学習の活動内容

前の設問で「(生涯学習活動に)取り組んでいる」と回答した人に活動内容を尋ねたところ、「ボランティア活動、地域奉仕活動」が106人(29.9%)で最も多く、次いで「スポーツ活動」が99人(27.9%)となっている。

1. 文化・芸術・創作活動	69	19.4%
2. 知識や教養を高める学習活動	62	17.5%
3. スポーツ活動	99	27.9%
4. ボランティア活動、地域奉仕活動	106	29.9%
5. その他	11	3.1%
無回答	8	2.3%
計	355	100.0%

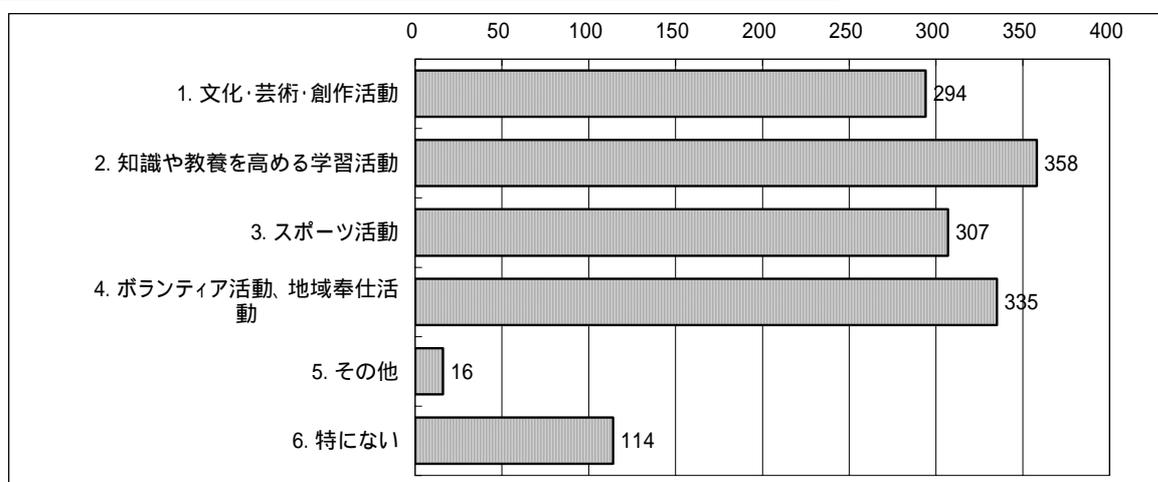


6. 今後取り組んでいきたい生涯学習活動（複数回答）

今後（も）取り組んでいきたい生涯学習活動としては、「知識や教養を高める学習活動」が358人（39.3%）で最も多く、次いで「ボランティア活動、地域奉仕活動」が335人（36.8%）となっている。ただし「スポーツ活動」、「文化・芸術・創作活動」とも3割以上の方が取り組んでいきたいと考えており、いずれの分野も関心の差はさほどない。

n = 910

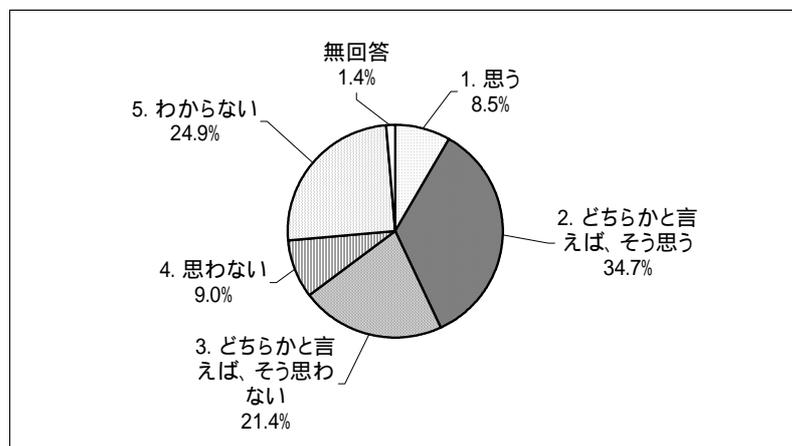
1. 文化・芸術・創作活動	294	32.3%
2. 知識や教養を高める学習活動	358	39.3%
3. スポーツ活動	307	33.7%
4. ボランティア活動、地域奉仕活動	335	36.8%
5. その他	16	1.8%
6. 特にない	114	12.5%



7. 生涯学習活動への支援は充実しているか

民間団体やボランティアによるものも含めて、生涯学習・生涯スポーツの支援（事業の開催や支援体制、施設の立地等）が充実していると思うか尋ねたところ、「思う（8.5%）」、「どちらかと言えば、そう思う（34.7%）」の合計が43.2%となっており、「思わない（9.0%）」、「どちらかと言えば、そう思わない（21.4%）」の合計30.4%を約13ポイント上回っている。

1. 思う	77	8.5%
2. どちらかと言えば、そう思う	316	34.7%
3. どちらかと言えば、そう思わない	195	21.4%
4. 思わない	82	9.0%
5. わからない	227	24.9%
無回答	13	1.4%
計	910	100.0%

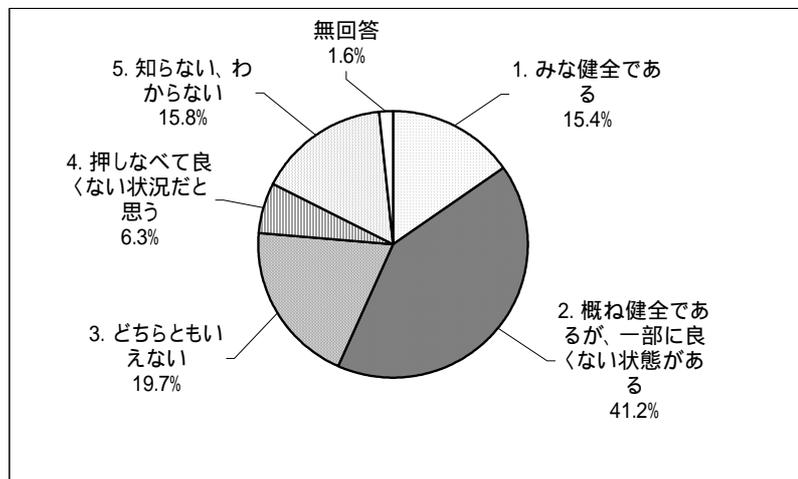


(3) 青少年の健全育成について

8 . 地域の青少年は健全か

居住する地域において青少年は健全と思うか尋ねたところ、「概ね健全であるが、一部によくない状態がある」が375人(41.2%)で最も多く、「みな健全である」の140人(15.4%)を加えると、青少年は概ね健全と考えている人が過半数にのぼっている。

1. みな健全である	140	15.4%
2. 概ね健全であるが、一部に良くない状態がある	375	41.2%
3. どちらともいえない	179	19.7%
4. 押しなべて良くない状況だと思う	57	6.3%
5. 知らない、わからない	144	15.8%
無回答	15	1.6%
計	910	100.0%



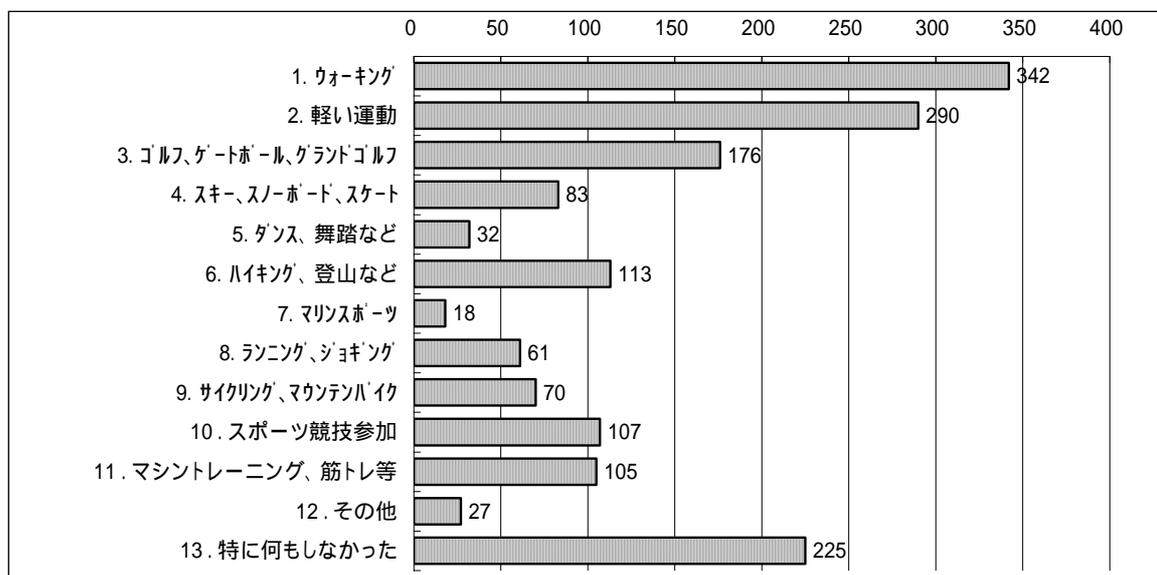
(4) スポーツ活動について

9. 最近行ったスポーツ (複数回答)

概ねこの1年間にスポーツを行った人は685人(75.3%)で、「ウォーキング」が342人(37.6%)で最も多く、次いでラジオ体操、キャッチボールなどの「軽いスポーツ」が290人(31.9%)となっている。

概ねこの1年間にスポーツを行った685人に対する割合は「ウォーキング」が49.9%、次いでラジオ体操、キャッチボールなどの「軽いスポーツ」が42.3%となっている。

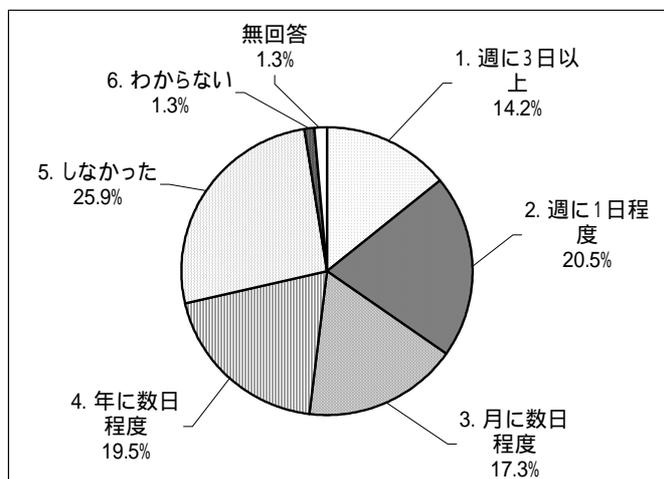
n = 910		
1. ウォーキング	342	37.6%
2. 軽い運動(ラジオ体操、キャッチボール、軽い水泳)	290	31.9%
3. ゴルフ、ゲートボール、グランドゴルフ	176	19.3%
4. スキー、スノーボード、スケート	83	9.1%
5. ダンス、舞踏など	32	3.5%
6. ハイキング、登山など	113	12.4%
7. マリンスポーツ(ヨット、スキューバー、カヌー等)	18	2.0%
8. ランニング、ジョギング	61	6.7%
9. サイクリング、マウンテンバイク	70	7.7%
10. スポーツ競技参加(野球、サッカー、バレーボール、陸上、水泳等)	107	11.8%
11. マシントレーニング、筋トレ等	105	11.5%
12. その他	27	3.0%
13. 特に何もしなかった	225	24.7%



10. スポーツを行う頻度

概ねこの1年間に、どのくらいの頻度でスポーツをしたか尋ねたところ、「しなかった」が236人（25.9%）で最も多く、次いで「週に1日程度」が187人（20.5%）となっている。

1. 週に3日以上	129	14.2%
2. 週に1日程度	187	20.5%
3. 月に数日程度	157	17.3%
4. 年に数日程度	177	19.5%
5. しなかった	236	25.9%
6. わからない	12	1.3%
無回答	12	1.3%
計	910	100.0%

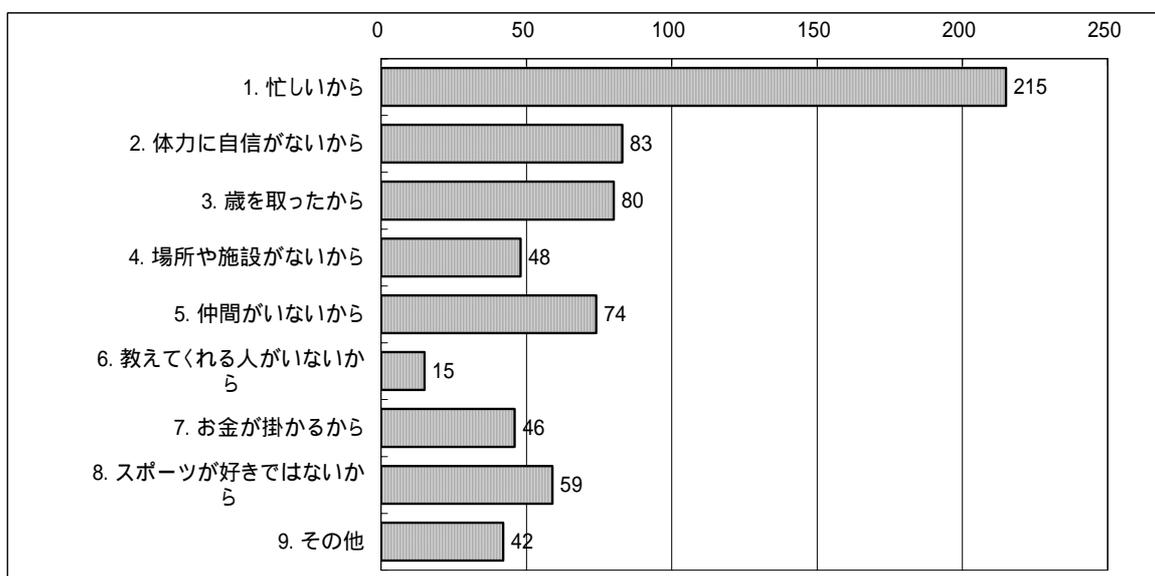


11. スポーツをほとんど行わなかった理由（複数回答）

前の設問で「年に数回程度」あるいは「しなかった」と回答した413人に対し、その理由を尋ねたところ、「忙しいから」が215人（52.1%）と過半数を占めている。

n = 413

1. 忙しいから	215	52.1%
2. 体力に自信がないから	83	20.1%
3. 歳を取ったから	80	19.4%
4. 場所や施設がないから	48	11.6%
5. 仲間がないから	74	17.9%
6. 教えてくれる人がいないから	15	3.6%
7. お金が掛かるから	46	11.1%
8. スポーツが好きではないから	59	14.3%
9. その他	42	10.2%

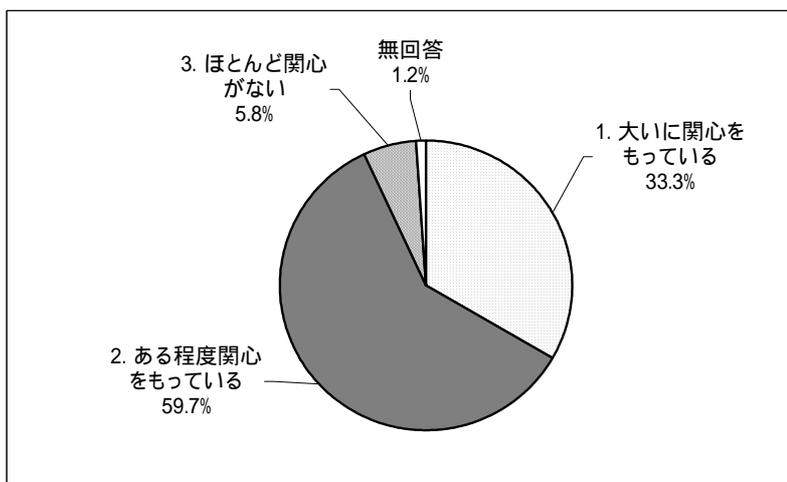


(5) 健康づくり・福祉について

12. 健康づくりへの関心

自分自身の健康保持や健康づくりなどに対する関心の程度を尋ねたところ、「ある程度関心を持っている」が543人(59.7%)で最も多く、「大いに関心を持っている」の303人(33.3%)を加えると、健康づくりに関心を持つ人が9割以上になっている。

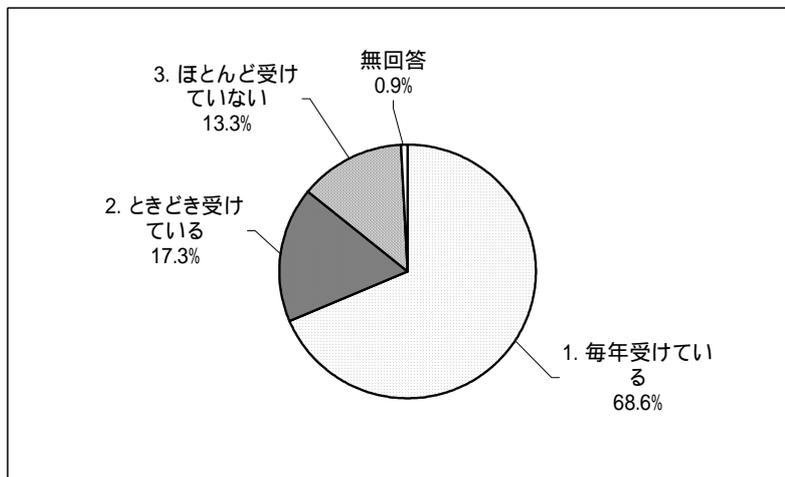
1. 大いに関心をもっている	303	33.3%
2. ある程度関心をもっている	543	59.7%
3. ほとんど関心がない	53	5.8%
無回答	11	1.2%
計	910	100.0%



13. 検診・健康診断

検診・健康診断を受ける頻度としては、「毎年受けている」が624人(68.6%)と、7割近くの人が定期的に受診している。

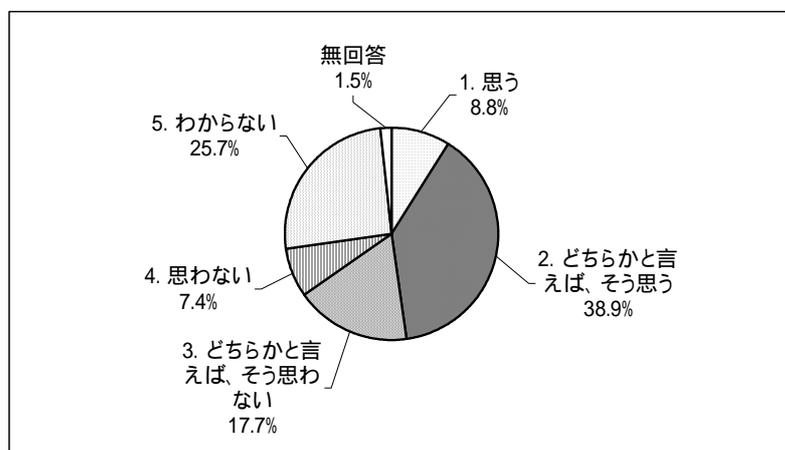
1. 毎年受けている	624	68.6%
2. ときどき受けている	157	17.3%
3. ほとんど受けていない	121	13.3%
無回答	8	0.9%
計	910	100.0%



14. 健康づくり・健康保持対策は充実しているか

民間団体やボランティアによるものも含めて、健康づくりや健康保持対策（施設、支援体制等）が充実していると思うか尋ねたところ、「思う（8.8%）」「どちらかと言えば、そう思う（38.9%）」の合計が47.7%となっており、「思わない（7.4%）」「どちらかと言えば、そう思わない（17.7%）」の合計25.1%を約23ポイント上回っている。

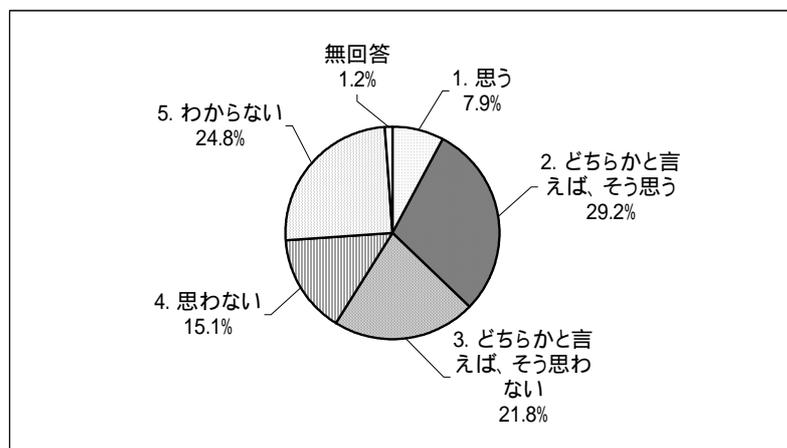
1. 思う	80	8.8%
2. どちらかと言えば、そう思う	354	38.9%
3. どちらかと言えば、そう思わない	161	17.7%
4. 思わない	67	7.4%
5. わからない	234	25.7%
無回答	14	1.5%
計	910	100.0%



15. 高齢者・心身障害者等に対し地域は見守ってくれるか

自分が一人暮らしの高齢者になったり心身に障害がある状態になった場合に、居住する地域の人々が無関心にならず温かい支え合いの気持ちで見守ってくれると思うか尋ねたところ、「思う(7.9%)」「どちらかと言えば、そう思う(29.2%)」の合計が37.1%となっており、「思わない(15.1%)」「どちらかと言えば、そう思わない(21.8%)」の合計36.9%とほぼ同程度となっている。

1. 思う	72	7.9%
2. どちらかと言えば、そう思う	266	29.2%
3. どちらかと言えば、そう思わない	198	21.8%
4. 思わない	137	15.1%
5. わからない	226	24.8%
無回答	11	1.2%
計	910	100.0%



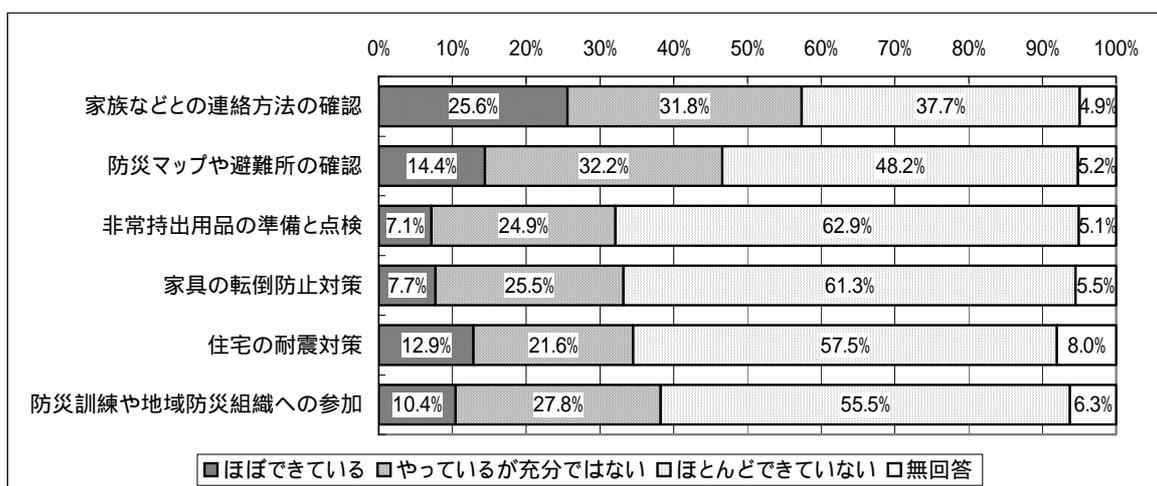
(6) 防災・防犯について

16. 地震などの災害時の備え

地震などの災害時の備えについてどの程度実行されているか、以下の項目ごとに尋ねたところ、“家族などとの連絡方法の確認”については「ほぼできている」が233人(25.6%)と、他の項目に比べてできている人の割合が高い。一方、“非常持出用品の準備と点検”、“家具の転倒防止対策”では「ほぼできている」がそれぞれ65人、70人で全体の7%代にとどまっている。

n = 910

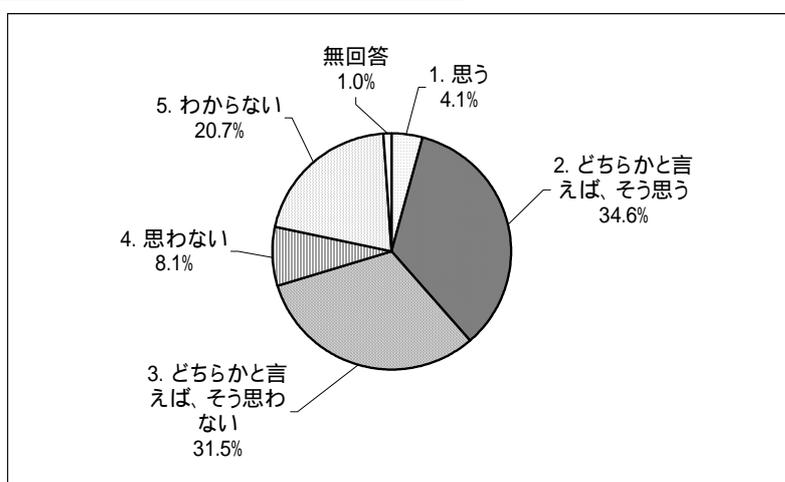
	ほぼできている	やっているが充分ではない	ほとんどできていない	無回答
家族などとの連絡方法の確認	233 25.6%	289 31.8%	343 37.7%	45 4.9%
防災マップや避難所の確認	131 14.4%	293 32.2%	439 48.2%	47 5.2%
非常持出用品の準備と点検	65 7.1%	227 24.9%	572 62.9%	46 5.1%
家具の転倒防止対策	70 7.7%	232 25.5%	558 61.3%	50 5.5%
住宅の耐震対策	117 12.9%	197 21.6%	523 57.5%	73 8.0%
防災訓練や地域防災組織への参加	95 10.4%	253 27.8%	505 55.5%	57 6.3%
その他	5 0.5%	-	-	-



17. 防犯に対して安全か

防犯面で安全なまちであると思うか尋ねたところ、「思う（4.1%）」「どちらかと言えば、そう思う（34.6%）」の合計が38.7%となっており、「思わない（8.1%）」「どちらかと言えば、そう思わない（31.5%）」の合計39.6%とほぼ同程度となっている。

1. 思う	37	4.1%
2. どちらかと言えば、そう思う	315	34.6%
3. どちらかと言えば、そう思わない	287	31.5%
4. 思わない	74	8.1%
5. わからない	188	20.7%
無回答	9	1.0%
計	910	100.0%

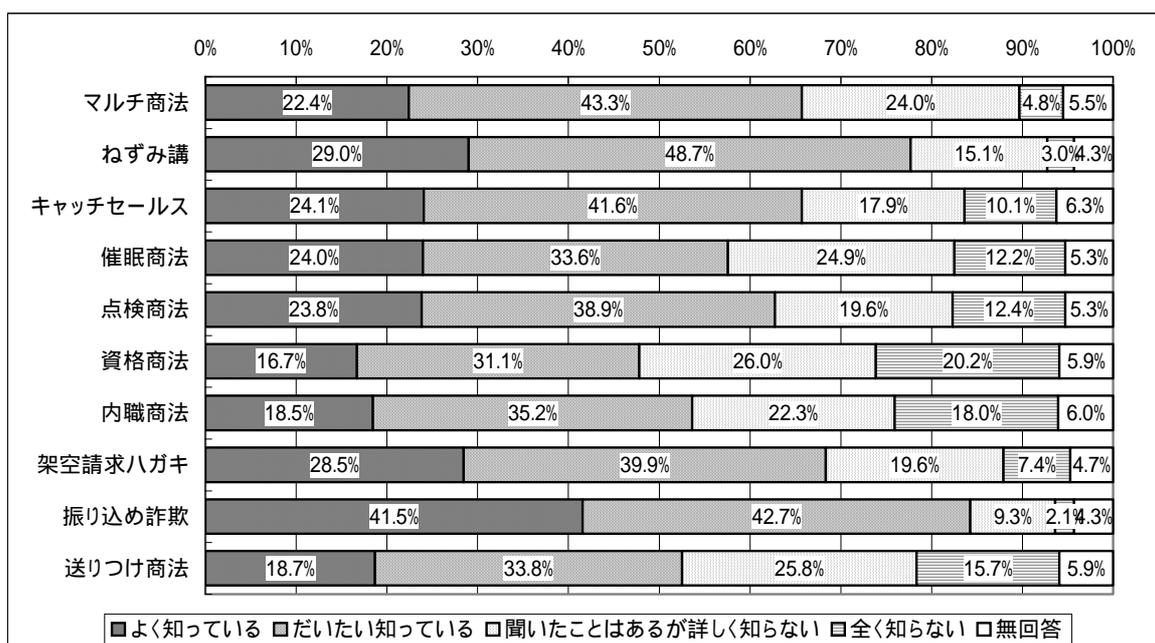


18. 悪質商法などに対する知識

悪質商法などについてどの程度知っているか、以下の項目ごとに尋ねたところ、「よく知っている」、「だいたい知っている」との回答が最も多かったのは“振り込め詐欺”（計767人、84.2%）で、いずれの項目もほぼ半数以上の人がある程度の知識を持っている。

n = 910

	よく知っている	だいたい知っている	聞いたことはあるが詳しく知らない	全く知らない	無回答
マルチ商法	204 22.4%	394 43.3%	218 24.0%	44 4.8%	50 5.5%
ねずみ講	264 29.0%	443 48.7%	137 15.1%	27 3.0%	39 4.3%
キャッチセールス	219 24.1%	379 41.6%	163 17.9%	92 10.1%	57 6.3%
催眠商法 (はいはい商法・SF商法)	218 24.0%	306 33.6%	227 24.9%	111 12.2%	48 5.3%
点検商法	217 23.8%	354 38.9%	178 19.6%	113 12.4%	48 5.3%
資格商法	152 16.7%	283 31.1%	237 26.0%	184 20.2%	54 5.9%
内職商法	168 18.5%	320 35.2%	203 22.3%	164 18.0%	55 6.0%
架空請求ハガキ	259 28.5%	363 39.9%	178 19.6%	67 7.4%	43 4.7%
振り込め詐欺 (オレオレ詐欺等)	378 41.5%	389 42.7%	85 9.3%	19 2.1%	39 4.3%
送りつけ商法 (ネガティブオプション)	170 18.7%	308 33.8%	235 25.8%	143 15.7%	54 5.9%



上記の設問について、「よく知っている」あるいは「だいたい知っている」と10項目全て回答した人は267人(29.3%)で、10項目中8項目以上になると429人(47.1%)と、ほぼ半数になっている。

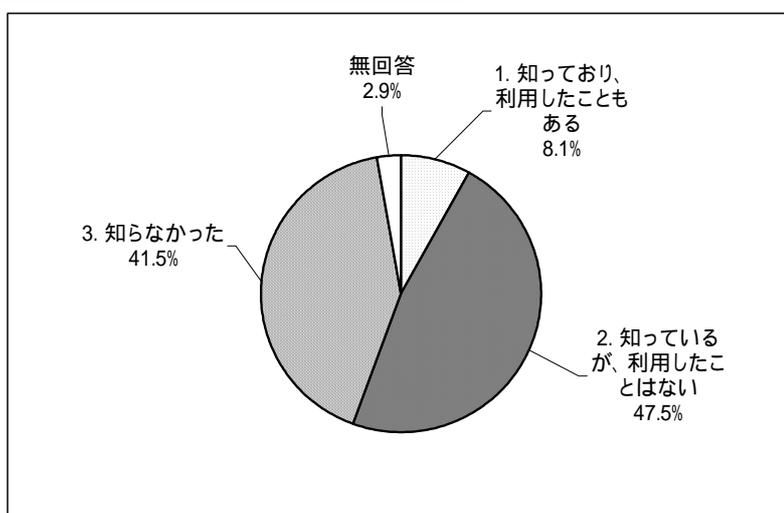
n = 910

	よく知っている		よく知っている+ だいたい知っている	
	数	%	数	%
10項目中10項目	78	8.6	267	29.3
10項目中9項目	37	4.1	90	9.9
10項目中8項目	25	2.7	72	7.9
10項目中7項目	20	2.2	80	8.8
7項目以上知っている人の合計	160	17.6	509	55.9
8項目以上知っている人の合計	140	15.3	429	47.1

19. 悪質商法などに関する相談窓口

悪質商法や契約のトラブルについて相談できる専門の窓口が設置されていることに対し、「知っており利用したこともある」、「知っているが利用したことはない」を合わせ、存在を知っている人は506人(55.6%)で、半数を超えている。

1. 知っており、利用したこともある	74	8.1%
2. 知っているが、利用したことはない	432	47.5%
3. 知らなかった	378	41.5%
無回答	26	2.9%
計	910	100.0%

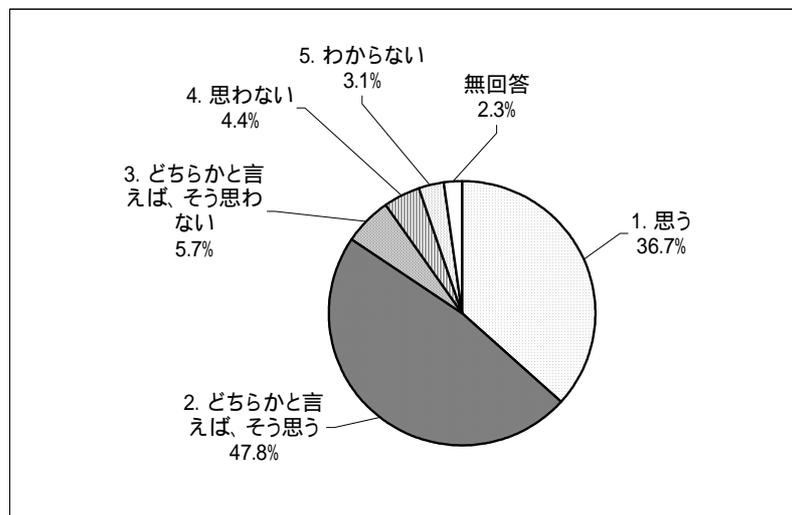


(7) 環境について

20. 自然の眺望景観は優れているか

野洲市は、山並みや田園など自然の眺望景観に優れたまちだと思うか尋ねたところ、「思う(36.7%)」「どちらかと言えば、そう思う(47.8%)」の合計が84.5%と大半を占めている。

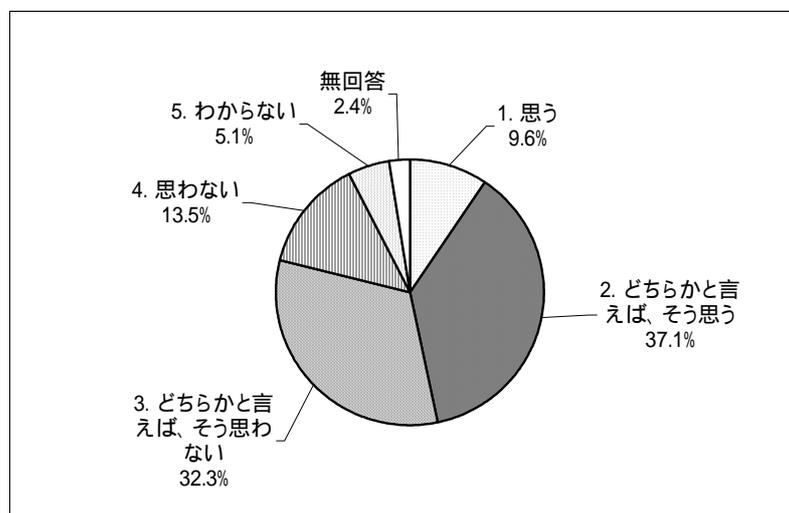
1. 思う	334	36.7%
2. どちらかと言えば、そう思う	435	47.8%
3. どちらかと言えば、そう思わない	52	5.7%
4. 思わない	40	4.4%
5. わからない	28	3.1%
無回答	21	2.3%
計	910	100.0%



21. 街並みや沿道の景観は優れているか

野洲市は、街並みや沿道の景観に優れたまちだと思うか尋ねたところ、「思う(9.6%)」「どちらかと言えば、そう思う(37.1%)」の合計が46.7%となっており、「思わない(13.5%)」「どちらかと言えば、そう思わない(32.3%)」の合計48.8%とほぼ同程度となっている。

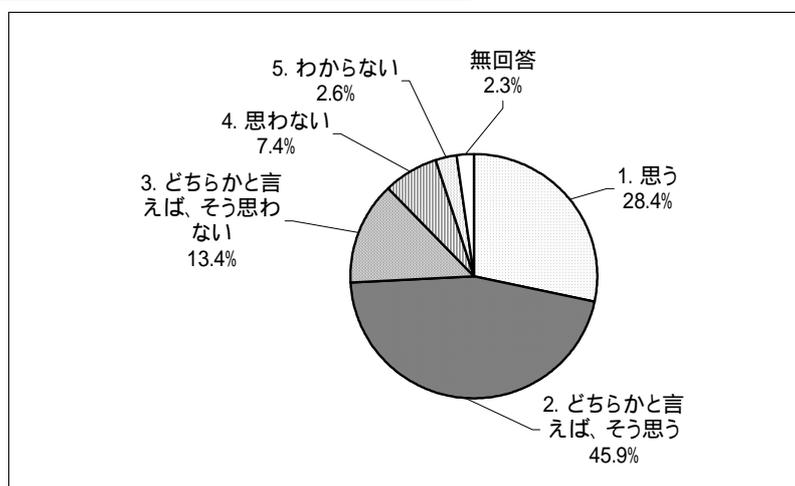
1. 思う	87	9.6%
2. どちらかと言えば、そう思う	338	37.1%
3. どちらかと言えば、そう思わない	294	32.3%
4. 思わない	123	13.5%
5. わからない	46	5.1%
無回答	22	2.4%
計	910	100.0%



22. 身近な水辺や緑は豊富にあるか

野洲市は、身近なところに親しめる水辺や緑（林や木立、草地）が豊富にあるまちだ
 と思うか尋ねたところ、「思う（28.4%）」「どちらかと言えば、そう思う（45.9%）」の
 合計が74.3%となっており、「思わない（7.4%）」「どちらかと言えば、そう思わない
 （13.4%）」の合計20.8%を大きく上回っている。

1. 思う	258	28.4%
2. どちらかと言えば、そう思う	418	45.9%
3. どちらかと言えば、そう思わない	122	13.4%
4. 思わない	67	7.4%
5. わからない	24	2.6%
無回答	21	2.3%
計	910	100.0%

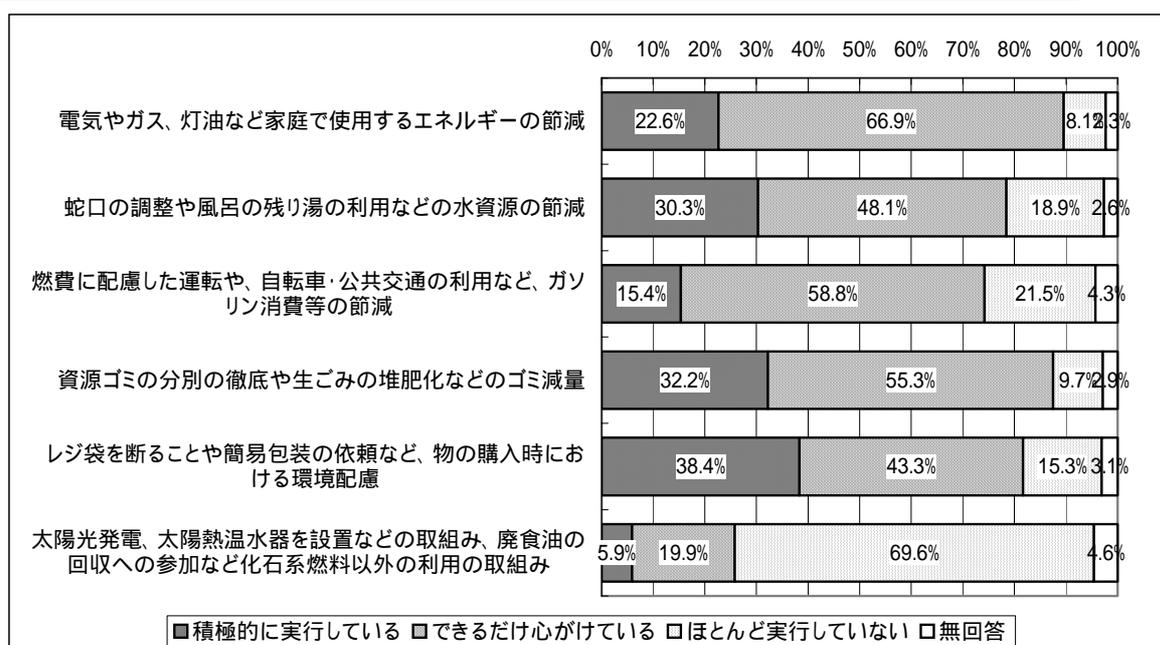


23. 家庭での省エネルギーなどの取り組み

家庭での省エネルギーなどの取り組みについて、以下の項目ごとに尋ねたところ、「積極的実行している」、「できるだけ心がけている」との回答が最も多かったのは“資源ゴミの分別などのゴミ減量”(計796人、87.5%)となっている。一方、あまり取り組みが進んでいないのは“太陽光発電など化石系燃料以外の利用”(計235人、25.8%)のほか、“ガソリン消費等の節減”(計675人、74.2%)などがあげられる。

n = 910

	積極的 実行して いる	でき るだけ 心がけ ている	ほと んど 実行し ていな い	無 回 答
電気やガス、灯油など家庭で使用するエネルギーの節減	206 22.6%	609 66.9%	74 8.1%	21 2.3%
蛇口の調整や風呂の残り湯の利用などの水資源の節減	276 30.3%	438 48.1%	172 18.9%	24 2.6%
燃費に配慮した運転や、自転車・公共交通の利用など、ガソリン消費等の節減	140 15.4%	535 58.8%	196 21.5%	39 4.3%
資源ゴミの分別の徹底や生ごみの堆肥化などのゴミ減量	293 32.2%	503 55.3%	88 9.7%	26 2.9%
レジ袋を断ることや簡易包装の依頼など、物の購入時における環境配慮	349 38.4%	394 43.3%	139 15.3%	28 3.1%
太陽光発電、太陽熱温水器を設置などの取組み、廃食油の回収への参加など化石系燃料以外の利用の取組み	54 5.9%	181 19.9%	633 69.6%	42 4.6%
その他	7 0.8%	-	-	-



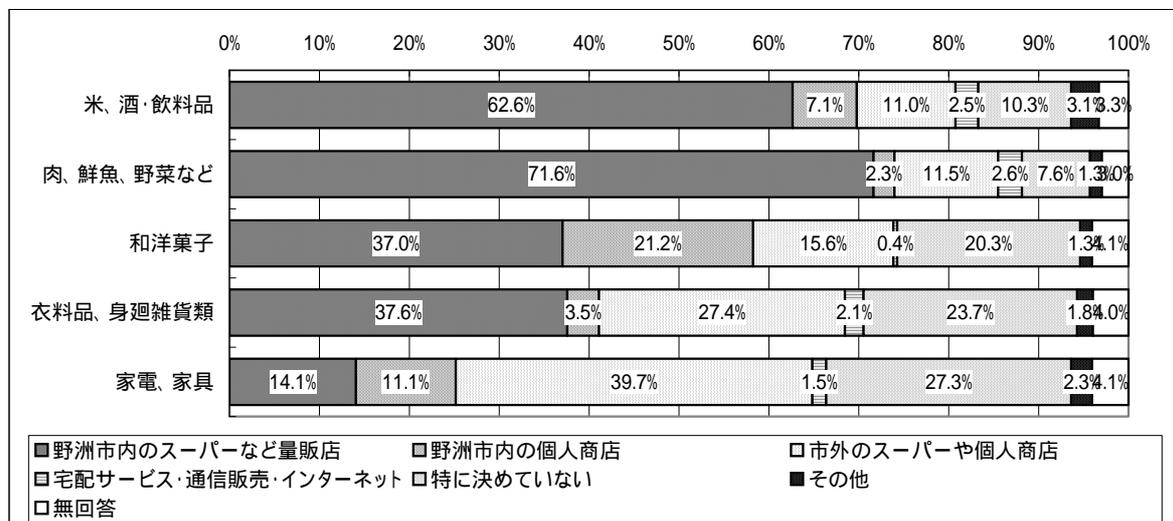
(8) 商業の振興について

24. 生活物資の購入先

生活物資の主な購入先について以下の項目ごとに尋ねたところ、「肉、鮮魚、野菜など」、「米、酒・飲料品」の日常買回り品はほぼ7割以上が市内のスーパーや個人商店で購入されている。一方、「家電・家具」では市外での購入が約4割を占めるほか、通信販売などが3割弱にのぼっている。

n = 910

	野洲市内のスーパーなど量販店	野洲市内の個人商店	市外のスーパーや個人商店	宅配サービス・通信販売・インターネット	特に決めていない	その他	無回答
米、酒・飲料品	570 62.6%	65 7.1%	100 11.0%	23 2.5%	94 10.3%	28 3.1%	30 3.3%
肉、鮮魚、野菜など	652 71.6%	21 2.3%	105 11.5%	24 2.6%	69 7.6%	12 1.3%	27 3.0%
和洋菓子	337 37.0%	193 21.2%	142 15.6%	4 0.4%	185 20.3%	12 1.3%	37 4.1%
衣料品、身廻雑貨類	342 37.6%	32 3.5%	249 27.4%	19 2.1%	216 23.7%	16 1.8%	36 4.0%
家電、家具	128 14.1%	101 11.1%	361 39.7%	14 1.5%	248 27.3%	21 2.3%	37 4.1%

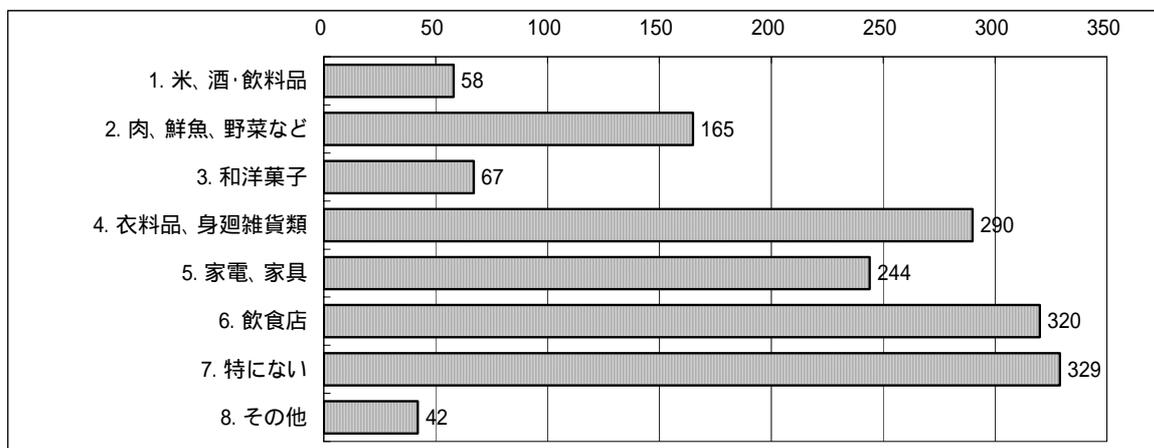


25. 市内で不便を感じる商業店舗（複数回答）

市内で不便を感じている（＝増えてほしいと思っている）商業店舗について尋ねたところ、「特にない」が329人（36.2%）で最も多く、次いで「飲食店」が320人（35.2%）となっている。

n = 910

1. 米、酒・飲料品	58	6.4%
2. 肉、鮮魚、野菜など	165	18.1%
3. 和洋菓子	67	7.4%
4. 衣料品、身廻雑貨類	290	31.9%
5. 家電、家具	244	26.8%
6. 飲食店	320	35.2%
7. 特にない	329	36.2%
8. その他	42	4.6%

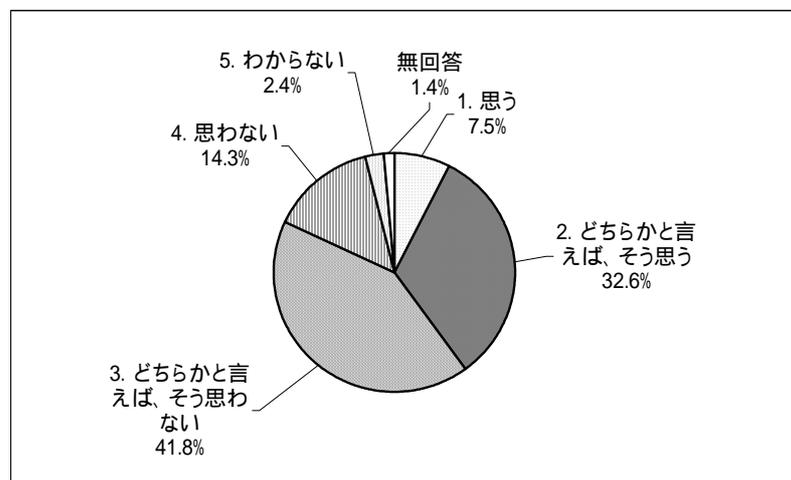


(9) 都市基盤について

26. 地域の道路は歩行者にとって安全か

居住している地域全体の道路を見渡した場合、歩行者が安全で歩きやすい道路であると思うか尋ねたところ、「思う(7.5%)」「どちらかと言えば、そう思う(32.6%)」の合計が40.1%となっており、「思わない(14.3%)」「どちらかと言えば、そう思わない(41.8%)」の合計56.1%を約16ポイント下回っている。

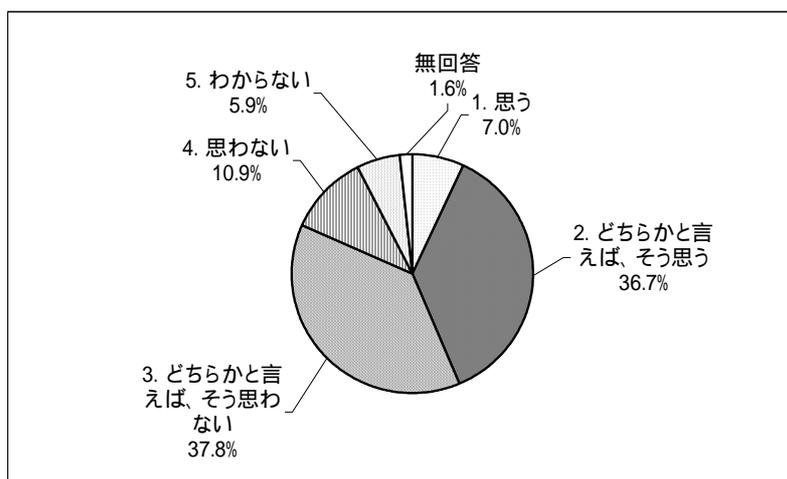
1. 思う	68	7.5%
2. どちらかと言えば、そう思う	297	32.6%
3. どちらかと言えば、そう思わない	380	41.8%
4. 思わない	130	14.3%
5. わからない	22	2.4%
無回答	13	1.4%
計	910	100.0%



27. 市全体の道路は自動車が快適で走行しやすいか

市全体の道路を見渡した場合、自動車が快適で走行しやすい道路であると思うか尋ねたところ、「思う(7.0%)」「どちらかと言えば、そう思う(36.7%)」の合計が43.7%となっており、「思わない(10.9%)」「どちらかと言えば、そう思わない(37.8%)」の合計48.7%を約5ポイント下回っている。

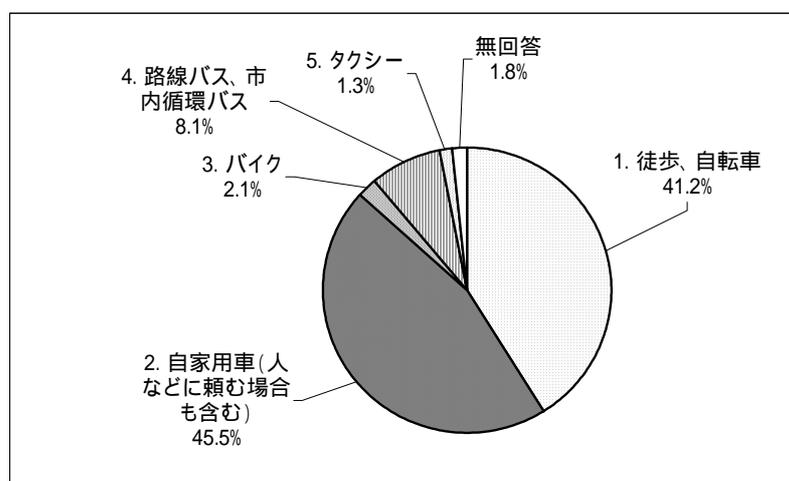
1. 思う	64	7.0%
2. どちらかと言えば、そう思う	334	36.7%
3. どちらかと言えば、そう思わない	344	37.8%
4. 思わない	99	10.9%
5. わからない	54	5.9%
無回答	15	1.6%
計	910	100.0%



28. 駅への主な交通手段

駅に向かう主な交通手段としては、「自家用車」が414人（45.5%）で最も多く、次いで「徒歩、自転車」が375人（41.2%）となっている。

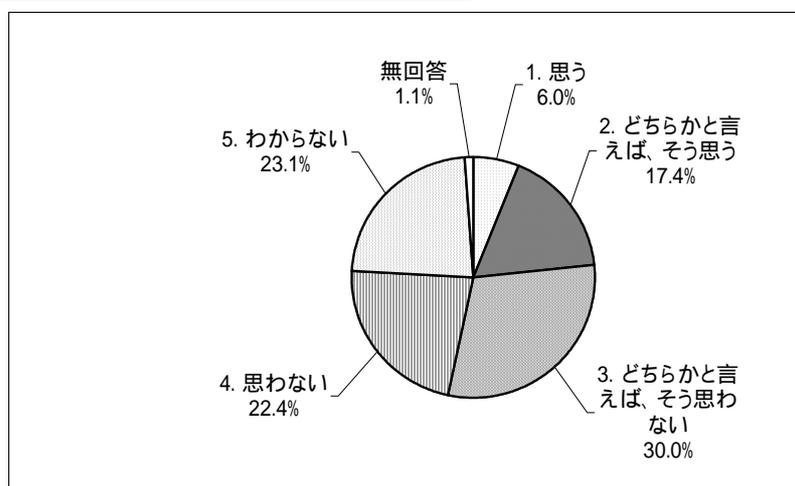
1. 徒歩、自転車	375	41.2%
2. 自家用車（人などに頼む場合も含む）	414	45.5%
3. バイク	19	2.1%
4. 路線バス、市内循環バス	74	8.1%
5. タクシー	12	1.3%
無回答	16	1.8%
計	910	100.0%



29. 路線バス・市内循環バスは便利で充実しているか

路線バス・市内循環バスについて、便利で充実していると思うか尋ねたところ、「思う(6.0%)」「どちらかと言えば、そう思う(17.4%)」の合計が23.4%となっており、「思わない(22.4%)」「どちらかと言えば、そう思わない(30.0%)」の合計52.4%を大きく下回っている。

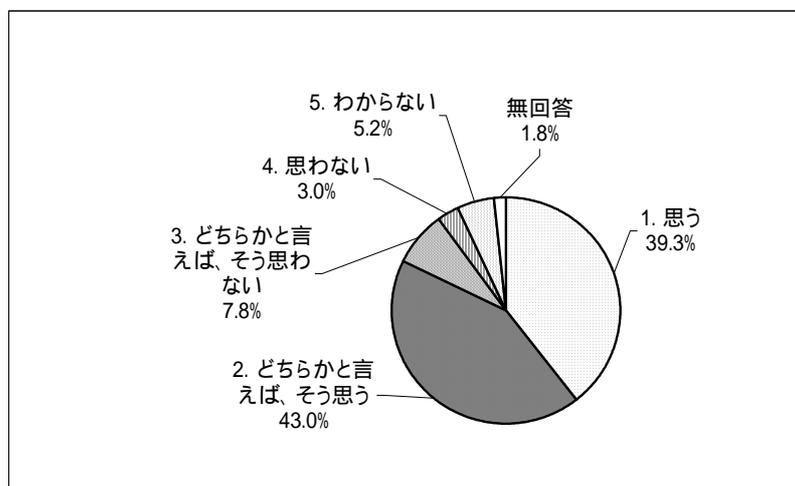
1. 思う	55	6.0%
2. どちらかと言えば、そう思う	158	17.4%
3. どちらかと言えば、そう思わない	273	30.0%
4. 思わない	204	22.4%
5. わからない	210	23.1%
無回答	10	1.1%
計	910	100.0%



30. 市内のJRは便利で充実しているか

市内のJRについて、便利で充実していると思うか尋ねたところ、「思う（39.3%）」
「どちらかと言えば、そう思う（43.0%）」の合計が82.3%と、大半の人が便利で充実
していると考えている。

1. 思う	358	39.3%
2. どちらかと言えば、そう思う	391	43.0%
3. どちらかと言えば、そう思わない	71	7.8%
4. 思わない	27	3.0%
5. わからない	47	5.2%
無回答	16	1.8%
計	910	100.0%

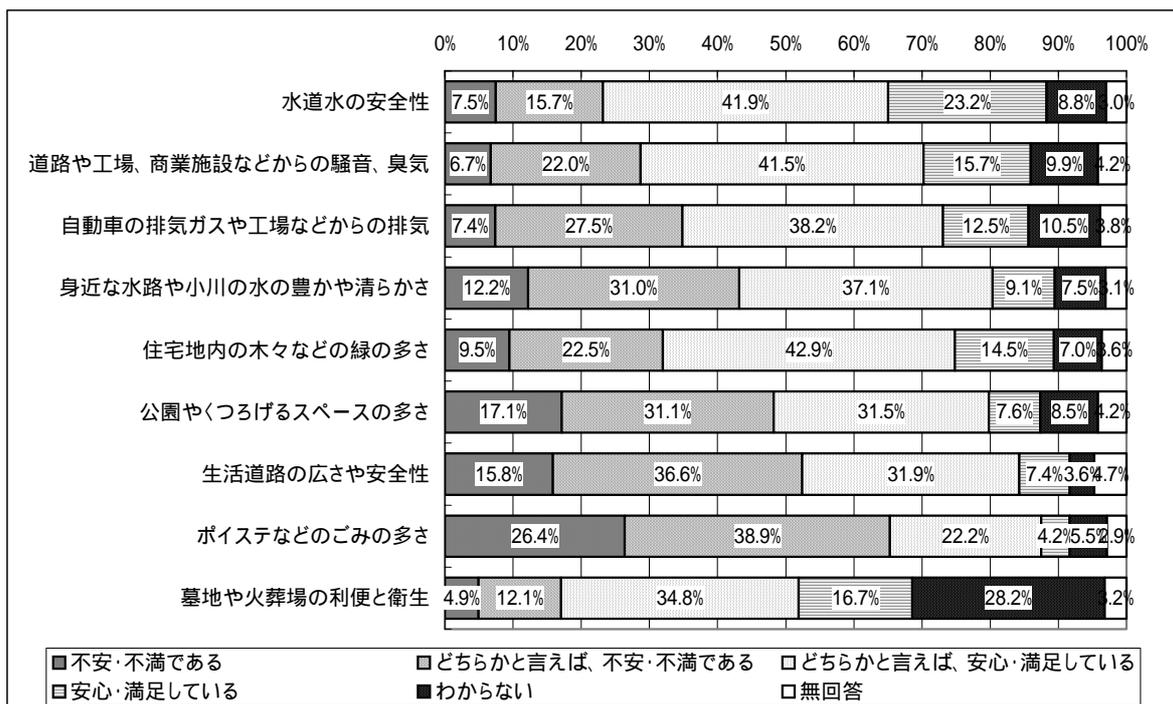


31. 日常の生活環境について不安や不満なことは何か

日常の生活環境に対し不安や不満を感じているものについて、以下の項目ごとに尋ねたところ、「不安・不満である」、「どちらかと言えば、不安・不満である」との回答が最も多かったのは“ポイステなどのごみの多さ”(計594人、65.3%)で、“生活道路の広さや安全性”(計477人、52.4%)が続いている。

n = 910

	不安・不満である	どちらかと言えば不安・不満である	どちらかと言えば安心・満足している	安心・満足している	わからない	無回答
水道水の安全性	68 7.5%	143 15.7%	381 41.9%	211 23.2%	80 8.8%	27 3.0%
道路や工場、商業施設などからの騒音、臭気	61 6.7%	200 22.0%	378 41.5%	143 15.7%	90 9.9%	38 4.2%
自動車の排気ガスや工場などからの排気	67 7.4%	250 27.5%	348 38.2%	114 12.5%	96 10.5%	35 3.8%
身近な水路や小川の水の豊かさや清らかさ	111 12.2%	282 31.0%	338 37.1%	83 9.1%	68 7.5%	28 3.1%
住宅地内の木々などの緑の多さ	86 9.5%	205 22.5%	390 42.9%	132 14.5%	64 7.0%	33 3.6%
公園やくつろげるスペースの多さ	156 17.1%	283 31.1%	287 31.5%	69 7.6%	77 8.5%	38 4.2%
生活道路の広さや安全性	144 15.8%	333 36.6%	290 31.9%	67 7.4%	33 3.6%	43 4.7%
ポイステなどのごみの多さ	240 26.4%	354 38.9%	202 22.2%	38 4.2%	50 5.5%	26 2.9%
墓地や火葬場の利便と衛生	45 4.9%	110 12.1%	317 34.8%	152 16.7%	257 28.2%	29 3.2%



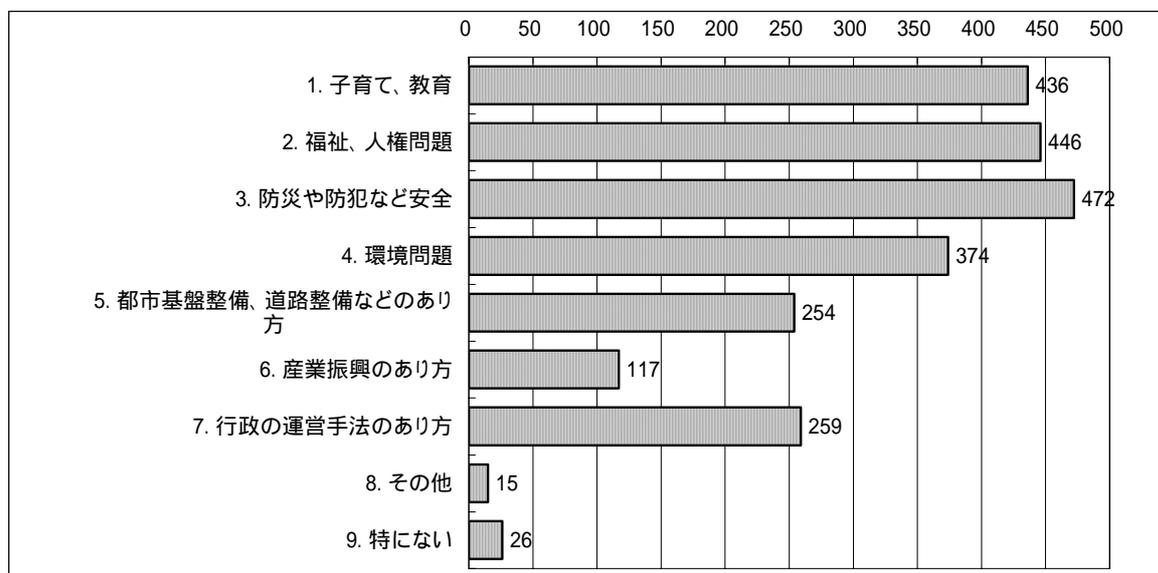
(10) 情報共有・行政運営などについて

32. 関心のある社会問題など (3つまでの複数回答)

関心のある社会問題などとしては、「防災や防犯などの安全性」が472人(51.9%)で最も多く、次いで「福祉、人権問題」が446人(49.0%)、「子育て、教育」が436人(47.9%)となっている。

n = 910

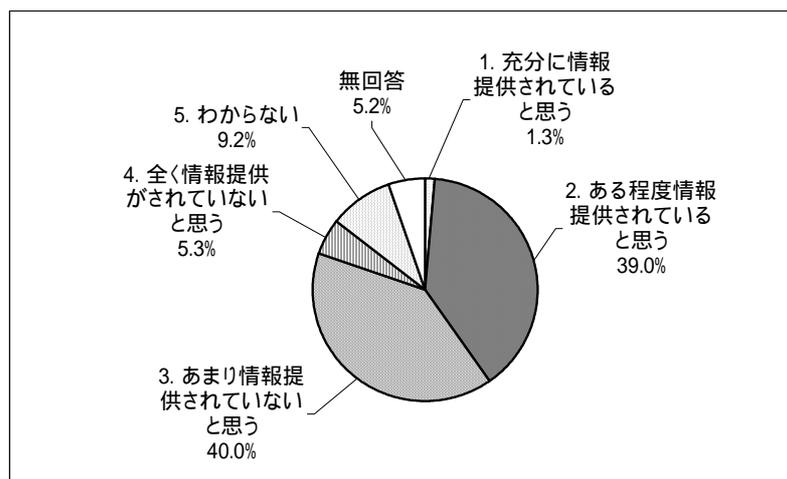
1. 子育て、教育	436	47.9%
2. 福祉、人権問題	446	49.0%
3. 防災や防犯など安全	472	51.9%
4. 環境問題	374	41.1%
5. 都市基盤整備、道路整備などのあり方	254	27.9%
6. 産業振興のあり方	117	12.9%
7. 行政の運営手法のあり方	259	28.5%
8. その他	15	1.6%
9. 特にない	26	2.9%



33. 関心のある社会問題に対し市行政の取組み状況や今後の方針などについて 十分な情報提供がなされているか

前の設問で関心があるとした社会問題に対し、市行政の取組み状況や今後の方針などについて、市行政からどの程度の情報提供がなされていると思うか尋ねたところ、「十分に情報提供されている(1.3%)」「ある程度情報提供されている(39.0%)」の合計が40.3%となっており、「全く情報提供されていない(5.3%)」「あまり情報提供されていない(40.0%)」の合計45.3%を約5ポイント下回っている。

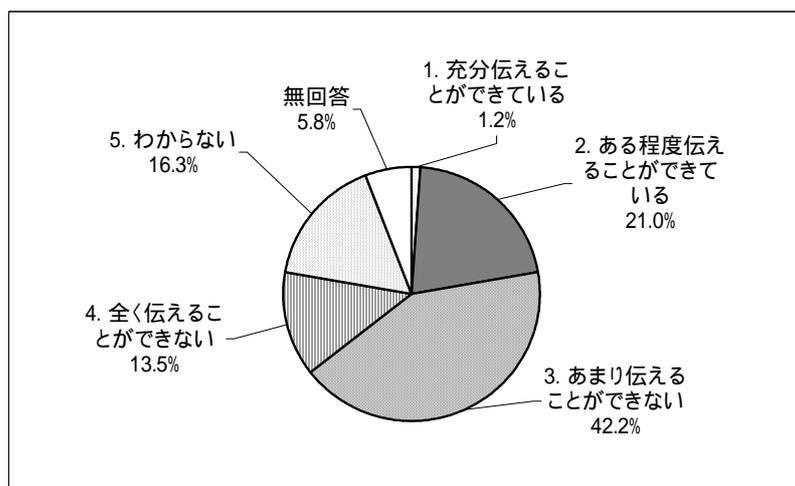
1. 十分に情報提供されていると思う	12	1.3%
2. ある程度情報提供されていると思う	355	39.0%
3. あまり情報提供されていないと思う	364	40.0%
4. 全く情報提供がされていないと思う	48	5.3%
5. わからない	84	9.2%
無回答	47	5.2%
計	910	100.0%



34. 関心のある社会問題について個人や団体、地域の意見を市行政に充分伝えることができるか

前の設問で関心があるとした社会問題に対し、個人や団体や地域でまとめた意見などについて、市行政にどの程度伝えることができていると思うか尋ねたところ、「十分に伝えることができている(1.2%)」「ある程度伝えることができている(21.0%)」の合計が22.2%にとどまり、「全く伝えることができている(13.5%)」「あまり伝えることができている(42.2%)」の合計55.7%を大きく下回っている。

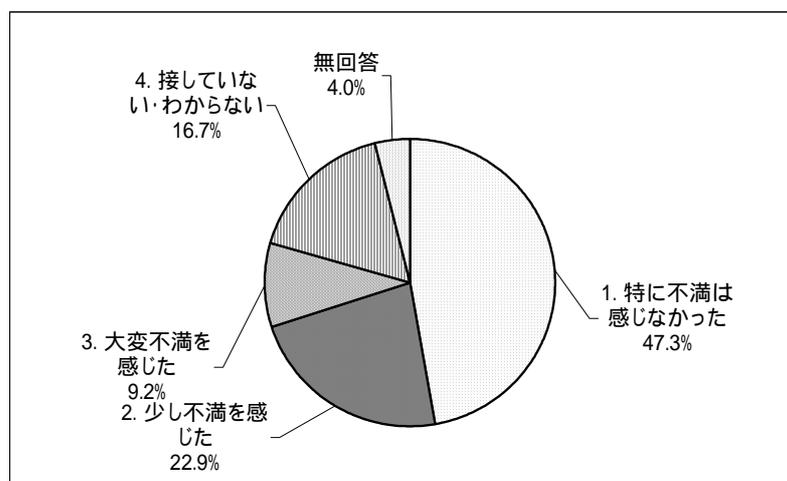
1. 充分伝えることができている	11	1.2%
2. ある程度伝えることができている	191	21.0%
3. あまり伝えることができない	384	42.2%
4. 全く伝えることができない	123	13.5%
5. わからない	148	16.3%
無回答	53	5.8%
計	910	100.0%



35. 市職員の応接態度や対応への感想

最近1年の間について、応対した市職員の応接態度や対応をどのように感じたか尋ねたところ、「特に不満を感じなかった」が430人(47.3%)と最も多くなっているが、「少し不満を感じた(22.9%)」「大変不満を感じた(9.2%)」の合計が3割を超えている。

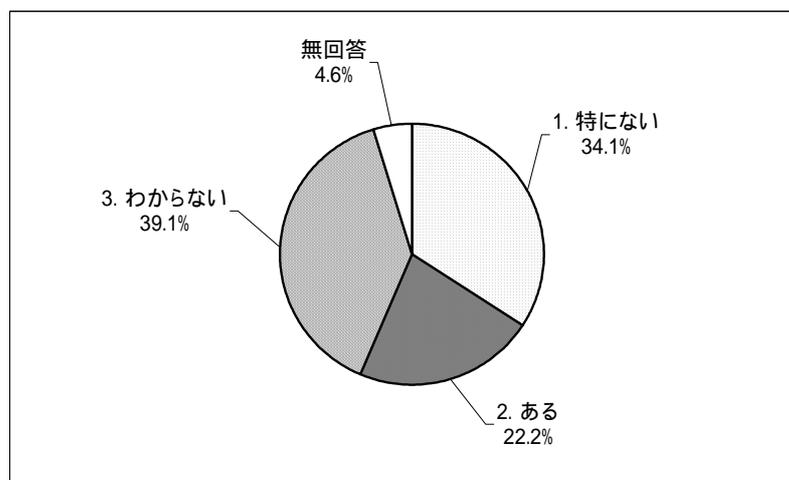
1. 特に不満を感じなかった	430	47.3%
2. 少し不満を感じた	208	22.9%
3. 大変不満を感じた	84	9.2%
4. 接していない・わからない	152	16.7%
無回答	36	4.0%
計	910	100.0%



36. 市の事業や手続きなどに不合理や非効率とを感じる点はあるか

市の実施している事業や手続きなどの制度について、不合理や非効率であると感じている点はあるか尋ねたところ、「分からない」が356人（39.1%）で最も多くなっているが、202人（22.2%）が何らかの不合理や非効率が「ある」としている。

1. 特にない	310	34.1%
2. ある	202	22.2%
3. わからない	356	39.1%
無回答	42	4.6%
計	910	100.0%

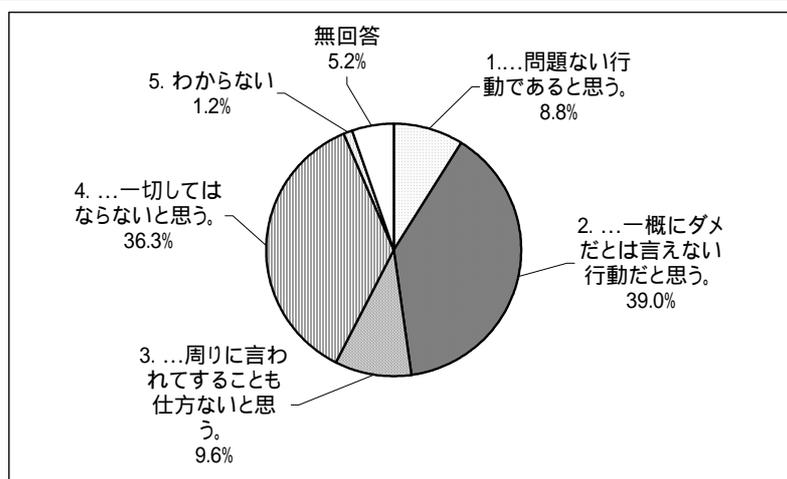


(11) 人権問題や男女共同参画について

37. 「聞き合わせ」の是非

自分自身や家族などの結婚に際して“聞き合わせ”をすることについて、「聞き合わせる内容によっては許される行為であり、一概にダメだとは言えない」が355人(39.0%)で最も多く、「問題ない行動である」の80人(8.8%)、「回りに言われてすることも仕方ない」の87人(9.6%)を合わせると、半数以上の人々が容認している。

1. これから結婚しようとする相手のことを良く知ることは必要なことであり、問題ない行動であると思う。	80	8.8%
2. 聞き合わせる内容によっては許される行為であり、一概にダメだとは言えない行動だと思う。	355	39.0%
3. 差別、又は差別につながる行為だと思うが、周りに言われてすることも仕方ないと思う。	87	9.6%
4. 差別、又は差別につながる行為だと思うので、一切してはならないと思う。	330	36.3%
5. わからない	11	1.2%
無回答	47	5.2%
計	910	100.0%



これを年齢階層別に見ると、いずれも容認する意見が過半数を占め、年代による差はほとんど見られない。

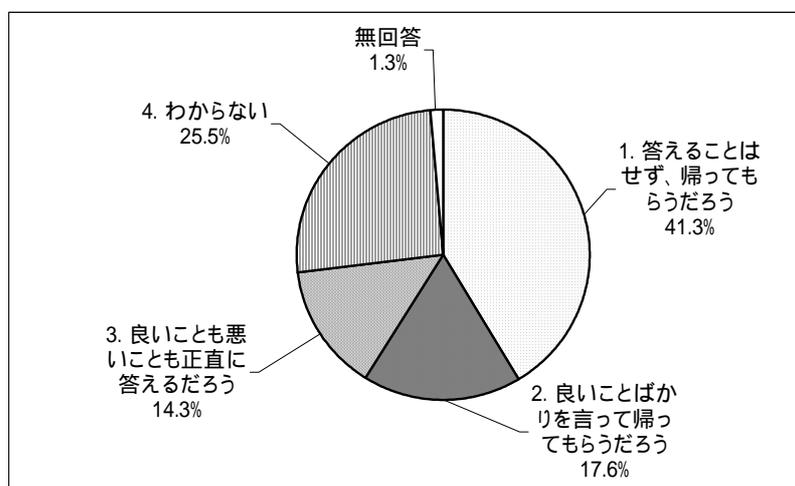
	1....問題ない行動であると思う。	2. ...一概にダメだとは言えない行動だと思う。	3. ...周りに言われてすることも仕方ないと思う。	4. ...一切してはならないと思う。	5. わからない	無回答	総計
30歳未満	8 8.9%	35 38.9%	14 15.6%	32 35.6%	0.0%	1 1.1%	90 100.0%
30歳以上60歳未満	23 4.8%	198 41.6%	58 12.2%	174 36.6%	7 1.5%	16 3.4%	476 100.0%
60歳以上	49 14.6%	120 35.7%	15 4.5%	119 35.4%	4 1.2%	29 8.6%	336 100.0%

注) 比率は、各年齢層の回答者数に対する割合

38. 「聞き合わせ」を受けた場合の対応

“聞き合わせ”を受けた場合にどう思うか尋ねたところ、「答えることはせず、帰ってもらえよう」が376人（41.3%）で最も多くなっており、前の設問で半数以上の方が“聞き合わせ”を容認しながらも、できるだけ協力はしたくないという姿勢がうかがえる。

1. 答えることはせず、帰ってもらえよう	376	41.3%
2. 良いことばかりを言って帰ってもらえよう	160	17.6%
3. 良いことも悪いことも正直に答えるだろう	130	14.3%
4. わからない	232	25.5%
無回答	12	1.3%
計	910	100.0%



これを年齢階層別に見ると、前の設問と同様、年代による差はほとんど見られない。

	1. 答えることはせず、帰ってもらえよう	2. 良いことばかりを言って帰ってもらえよう	3. 良いことも悪いことも正直に答えるだろう	4. わからない	無回答	計
30歳未満	35 38.9%	19 21.1%	15 16.7%	21 23.3%	0.0%	90 100.0%
30歳以上60歳未満	202 42.4%	95 20.0%	50 10.5%	124 26.1%	5 1.1%	476 100.0%
60歳以上	139 41.4%	45 13.4%	64 19.0%	83 24.7%	5 1.5%	336 100.0%

問37と問38を掛け合わせてみると、“聞き合わせ”は「一切してはならず」、「聞き合わせ」を受けても「答えることはせず、帰ってもらうだろう」とする回答は、215人（23.6%）となっている。

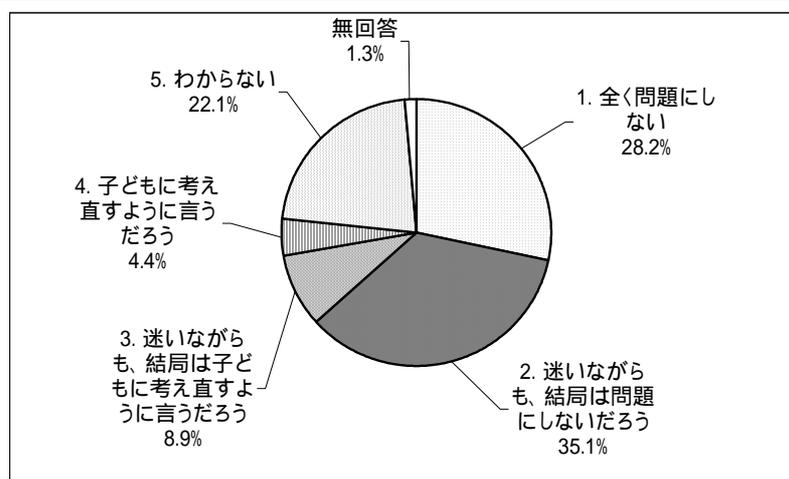
		問38					総計
		1. 答えることはせず、帰ってもらうだろう	2. 良いことばかりを言って帰ってもらうだろう	3. 良いことも悪いことも正直に答えるだろう	4. わからない	無回答	
問37	1...問題ない行動であると思う。	10 1.1%	18 2.0%	30 3.3%	21 2.3%	1 0.1%	80 8.8%
	2. ...一概にダメだとは言えない行動だと思う。	94 10.3%	72 7.9%	70 7.7%	115 12.6%	4 0.4%	355 39.0%
	3. ...周りに言われてすることも仕方ないと思う。	30 3.3%	24 2.6%	7 0.8%	25 2.7%	1 0.1%	87 9.6%
	4. ...一切してはならないと思う。	215 23.6%	41 4.5%	14 1.5%	59 6.5%	1 0.1%	330 36.3%
	5. わからない	3 0.3%	2 0.2%	0 0.0%	6 0.7%	0 0.0%	11 1.2%
	無回答	24 2.6%	3 0.3%	9 1.0%	6 0.7%	5 0.5%	47 5.2%
	総計	376 41.3%	160 17.6%	130 14.3%	232 25.5%	12 1.3%	910 100.0%

注) 比率は、回答者総数(n=910)に対する割合

39. 自分自身や子どもが結婚したい相手が部落の人だと分かった時どうするか

自分自身や子どもが結婚したい相手が部落の人（同和地区出身）だと分かった時、どんな態度をとると思うか尋ねたところ、「迷いながらも、結局は問題にしないだろう」が319人（35.1%）で最も多くなっており、次いで「全く問題にしない」が257人（28.2%）となっている。

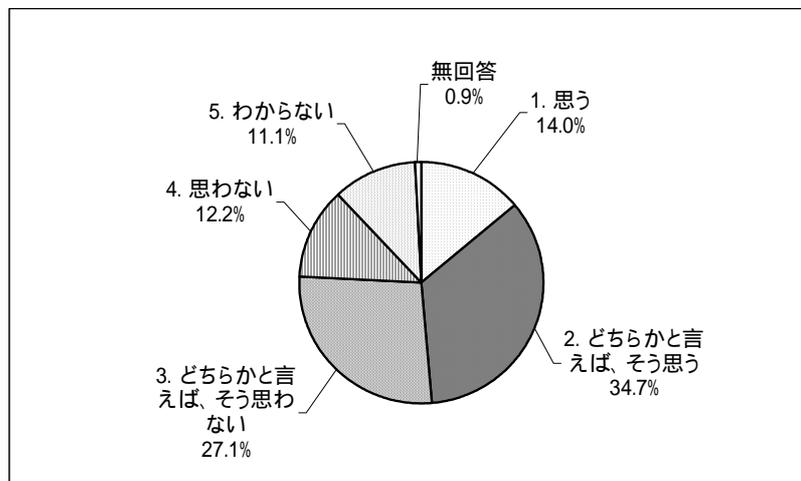
1. 全く問題にしない	257	28.2%
2. 迷いながらも、結局は問題にしないだろう	319	35.1%
3. 迷いながらも、結局は子どもに考え直すように言うだろう	81	8.9%
4. 子どもに考え直すように言うだろう	40	4.4%
5. わからない	201	22.1%
無回答	12	1.3%
計	910	100.0%



39. 男女共同参画社会は定着しているか

地域社会や職場などにおけるあらゆる「意思決定」の場面に、女性も男性も同じように参画できるようになっていると思うか尋ねたところ、「思う(14.0%)」「どちらかと言えば、そう思う(34.7%)」との肯定的意見の合計が48.7%となっており、「思わない(12.2%)」「どちらかと言えば、そう思わない(27.1%)」との否定的意見の合計39.3%を約9ポイント上回っている。

1. 思う	127	14.0%
2. どちらかと言えば、そう思う	316	34.7%
3. どちらかと言えば、そう思わない	247	27.1%
4. 思わない	111	12.2%
5. わからない	101	11.1%
無回答	8	0.9%
計	910	100.0%



しかしながら、これを男女別に見ると、男性では肯定的意見が58.7%で、否定的意見の33.6%を約25ポイント上回っているのに対し、女性では肯定的意見が41.2%、否定的意見が43.9%と、否定的意見の方がやや上回っている。

	1. 思う	2. どちらかと言えば、そう思う	3. どちらかと言えば、そう思わない	4. 思わない	5. わからない	無回答	総計
1. 男	77 19.7%	152 39.0%	89 22.8%	42 10.8%	29 7.4%	1 0.3%	390 100.0%
2. 女	49 9.6%	162 31.6%	156 30.4%	69 13.5%	71 13.8%	6 1.2%	513 100.0%

注) 比率は、各性別の回答者数に対する割合

年齢階層別では、年代が上がるほど肯定的意見が多く、否定的意見が少なくなっている。

	1. 思う	2. どちらかと言えば、そう思う	3. どちらかと言えば、そう思わない	4. 思わない	5. わからない	無回答	総計
30歳未満	10 11.1%	30 33.3%	31 34.4%	12 13.3%	7 7.8%	0.0%	90 100.0%
30歳以上60歳未満	62 13.0%	155 32.6%	139 29.2%	69 14.5%	51 10.7%	0.0%	476 100.0%
60歳以上	55 16.4%	128 38.1%	75 22.3%	30 8.9%	42 12.5%	6 1.8%	336 100.0%

注) 比率は、各年齢層の回答者数に対する割合

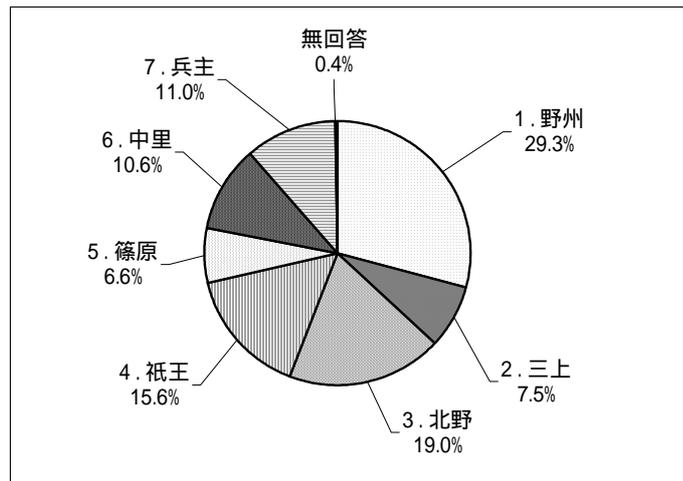
保護者アンケート

(1) 回答者の属性

1. 居住地

回答者の居住地は、野洲学区が160人（29.3%）、次いで北野学区が104人（19.0%）となっている。

1. 野州	160	29.3%
2. 三上	41	7.5%
3. 北野	104	19.0%
4. 祇王	85	15.6%
5. 篠原	36	6.6%
6. 中里	58	10.6%
7. 兵主	60	11.0%
無回答	2	0.4%
計	546	100.0%

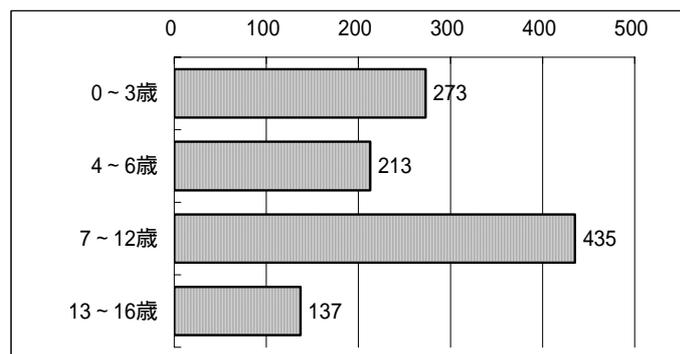


2. 養育している子どもの年齢（複数回答）

養育している子ども（中学生以下）の年齢階層別の人数は以下のとおりである。

回答者1人当たりの子どもの数は、平均約1.9人（=1,058人÷546人）となっている。

0～3歳	273
4～6歳	213
7～12歳	435
13～16歳	137
計	1,058

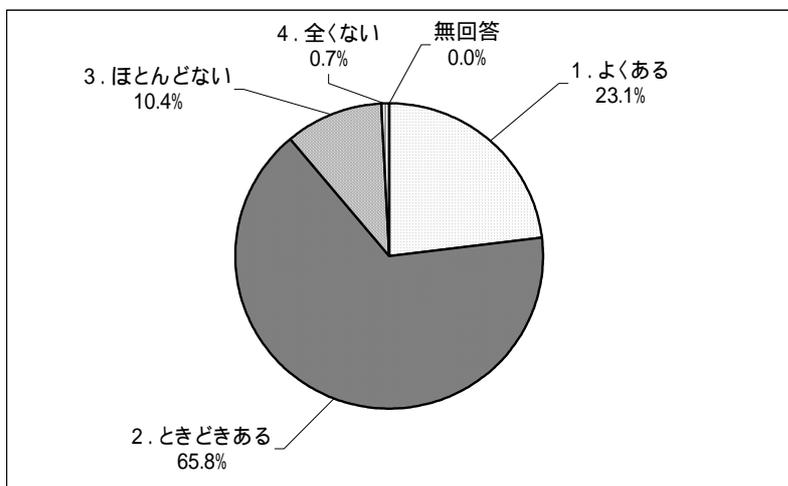


(2) 子育て・子育てについて

3. 子育て・子育てに不安を感じることはあるか

子育て・子育てに不安を感じることはあるか尋ねたところ、「ときどきある」が359人(65.8%)で最も多く、「よくある」の126人(23.1%)を合わせると、9割近くの人が子育て・子育てに何らかの不安を感じている。

1. よくある	126	23.1%
2. ときどきある	359	65.8%
3. ほとんどない	57	10.4%
4. 全くない	4	0.7%
無回答	0	0.0%
計	546	100.0%

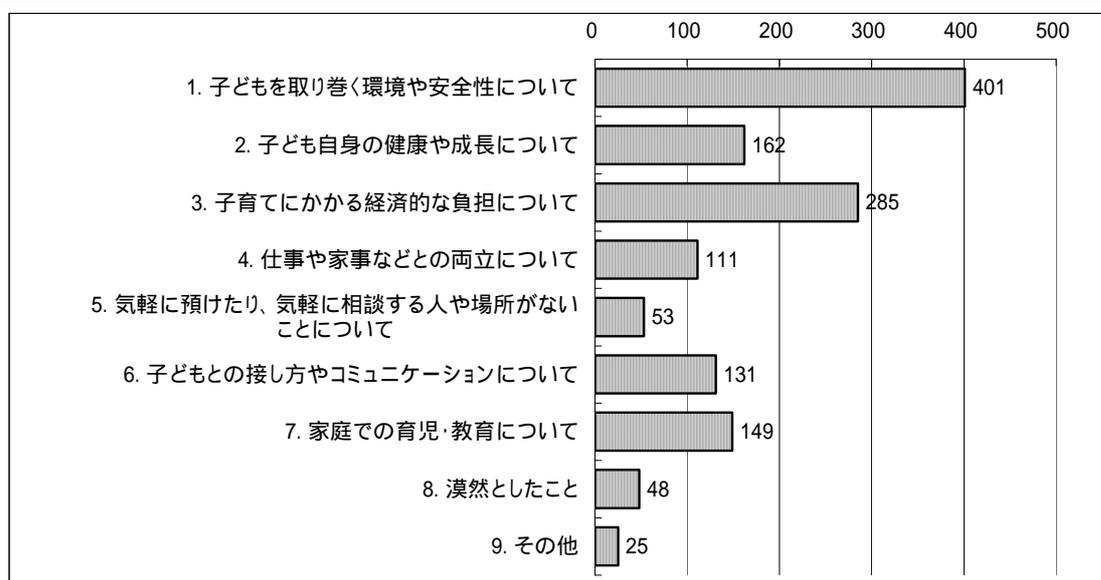


4. 子育て・子育てのどんなことに不安を感じるか（複数回答）

子育て・子育てについて、具体的にどんなことに不安を感じるか尋ねたところ、「子どもを取り巻く環境や安全性」が401人（73.4%）で最も多く、次いで「子育てにかかる経済的な負担」が285人（52.2%）となっている。

n = 546

1. 子どもを取り巻く環境や安全性について	401	73.4%
2. 子ども自身の健康や成長について	162	29.7%
3. 子育てにかかる経済的な負担について	285	52.2%
4. 仕事や家事などとの両立について	111	20.3%
5. 気軽に預けたり、気軽に相談する人や場所がないことについて	53	9.7%
6. 子どもとの接し方やコミュニケーションについて	131	24.0%
7. 家庭での育児・教育について	149	27.3%
8. 漠然としたこと	48	8.8%
9. その他	25	4.6%



子どもの年齢階層別に見ると、13～16歳で「子育てにかかる経済的な負担」がやや多くなっている。

	1. 子どもを取り巻く環境や安全性について	2. 子ども自身の健康や成長について	3. 子育てにかかる経済的な負担について	4. 仕事や家事などとの両立について	5. 気軽に預けたり、気軽に相談する人や場所がないことについて	6. 子どもとの接し方やコミュニケーションについて	7. 家庭での育児・教育について	8. 漠然としたこと	9. その他	n
0～3歳	199 72.9%	81 29.7%	144 52.7%	59 21.6%	32 11.7%	59 21.6%	64 23.4%	18 6.6%	14 5.1%	273
4～6歳	162 76.1%	62 29.1%	105 49.3%	37 17.4%	24 11.3%	53 24.9%	65 30.5%	16 7.5%	6 2.8%	213
7～12歳	327 75.2%	127 29.2%	223 51.3%	84 19.3%	43 9.9%	105 24.1%	133 30.6%	49 11.3%	21 4.8%	435
13～16歳	96 70.1%	38 27.7%	88 64.2%	19 13.9%	8 5.8%	36 26.3%	35 25.5%	11 8.0%	7 5.1%	137

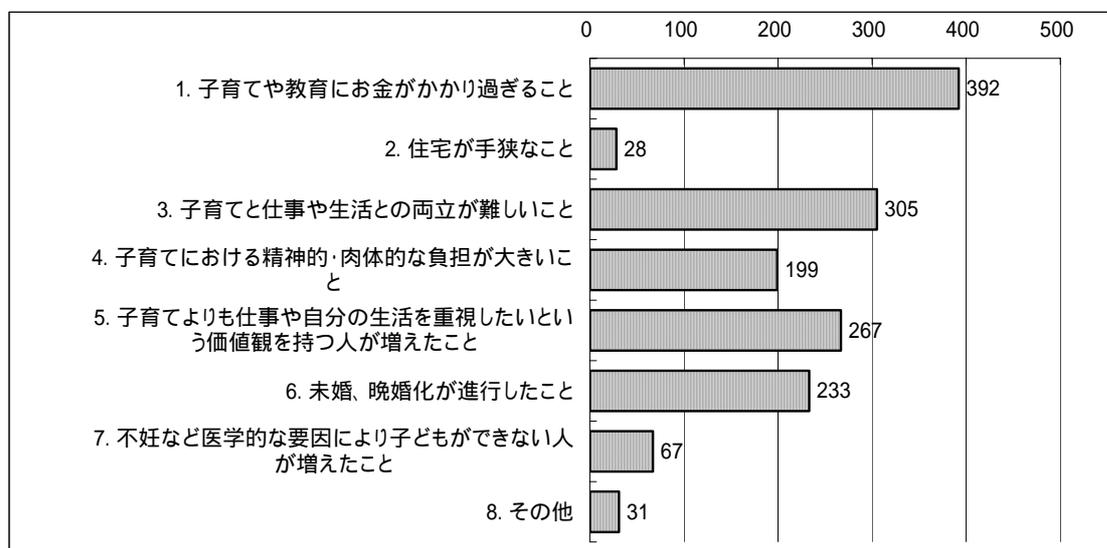
注）比率は、各年齢階層の総数（n）に対する割合

5. 少子化の主な原因は何か (3つまでの複数回答)

少子化が進行している主な原因は何だと思うか尋ねたところ、「子育てや教育にお金がかかり過ぎること」が392人(71.8%)で最も多く、次いで「子育てと仕事や生活との両立が難しいこと」が305人(55.9%)となっている。

n = 546

1. 子育てや教育にお金がかかり過ぎること	392	71.8%
2. 住宅が手狭なこと	28	5.1%
3. 子育てと仕事や生活との両立が難しいこと	305	55.9%
4. 子育てにおける精神的・肉体的な負担が大きいこと	199	36.4%
5. 子育てよりも仕事や自分の生活を重視したいという価値観を持つ人が増えたこと	267	48.9%
6. 未婚、晩婚化が進行したこと	233	42.7%
7. 不妊など医学的な要因により子どもができない人が増えたこと	67	12.3%
8. その他	31	5.7%



子どもの年齢階層別では、傾向の差はほとんど見られない。

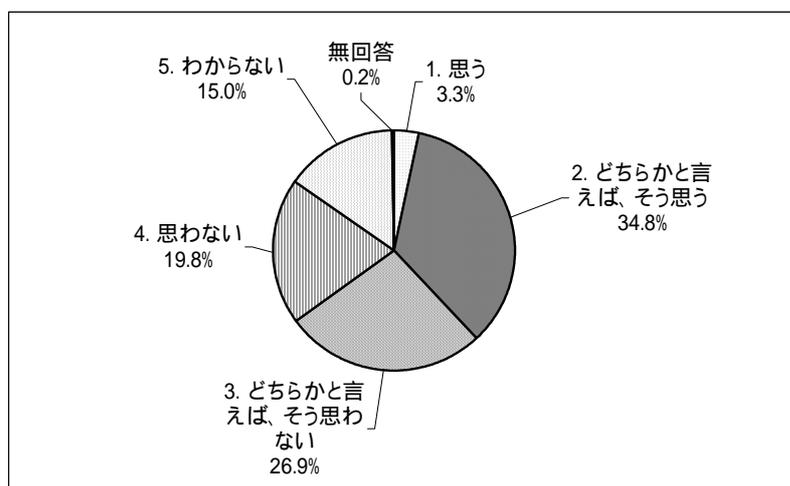
	1. 子育てや教育にお金がかかり過ぎること	2. 住宅が手狭なこと	3. 子育てと仕事や生活との両立が難しいこと	4. 子育てにおける精神的・肉体的な負担が大きいこと	5. 子育てよりも仕事や自分の生活を重視したいという価値観を持つ人が増えたこと	6. 未婚、晩婚化が進行したこと	7. 不妊など医学的な要因により子どもができない人が増えたこと	8. その他	n
0~3歳	188 68.9%	12 4.4%	153 56.0%	90 33.0%	129 47.3%	122 44.7%	41 15.0%	19 7.0%	273
4~6歳	152 71.4%	10 4.7%	118 55.4%	83 39.0%	104 48.8%	85 39.9%	27 12.7%	10 4.7%	213
7~12歳	301 69.2%	25 5.7%	249 57.2%	166 38.2%	226 52.0%	179 41.1%	45 10.3%	16 3.7%	435
13~16歳	102 74.5%	9 6.6%	73 53.3%	49 35.8%	78 56.9%	59 43.1%	7 5.1%	4 2.9%	137

注) 比率は、各年齢階層の総数(n)に対する割合

6. 子育て・子育てについての福祉・支援対策は充実しているか

民間団体やボランティアによるものも含めて、子育て・子育てについての福祉・支援対策（施設、支援事業など）が充実していると思うか尋ねたところ、「思う（3.3%）」「どちらかと言えば、そう思う（34.8%）」の合計が38.1%となっており、「思わない（19.8%）」「どちらかと言えば、そう思わない（26.9%）」の合計46.7%を約9ポイント下回っている。

1. 思う	18	3.3%
2. どちらかと言えば、そう思う	190	34.8%
3. どちらかと言えば、そう思わない	147	26.9%
4. 思わない	108	19.8%
5. わからない	82	15.0%
無回答	1	0.2%
計	546	100.0%



年齢階層別に見ると、「思う」「どちらかと言えば、そう思う」の合計が、0～3歳で46.5%に対し、13～16歳では30.0%と、年代が上がるほど少なくなる傾向が見られる。

	1. 思う	2. どちらかと言えば、そう思う	3. どちらかと言えば、そう思わない	4. 思わない	5. わからない	無回答	総数
0～3歳	14 5.1%	113 41.4%	65 23.8%	46 16.8%	35 12.8%	0 0.0%	273 100.0%
4～6歳	5 2.3%	73 34.3%	62 29.1%	41 19.2%	32 15.0%	0 0.0%	213 100.0%
7～12歳	9 2.1%	129 29.7%	141 32.4%	84 19.3%	69 15.9%	3 0.7%	435 100.0%
13～16歳	2 1.5%	39 28.5%	36 26.3%	32 23.4%	28 20.4%	0 0.0%	137 100.0%

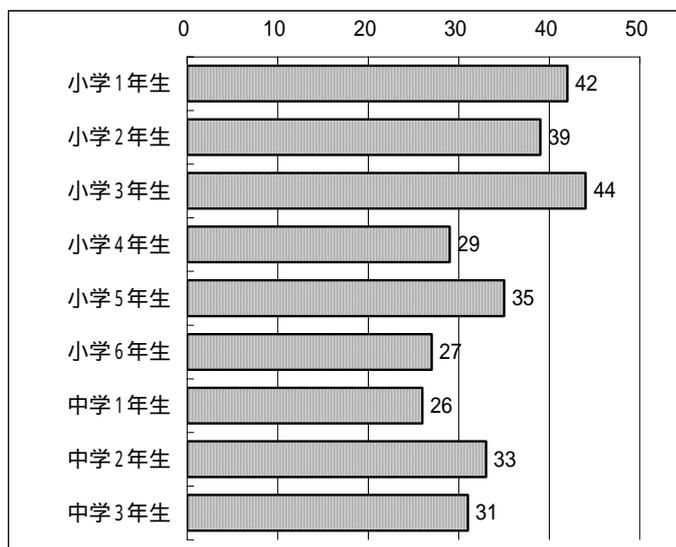
注) 比率は、各年齢階層の総数に対する割合

【以下の設問は、調査対象の子どもが市立の小・中学生のみを対象】

7. 子どもの学年

以下の設問の対象となる子どもの学年ごとの人数としては、小学3年生が44人（14.4%）で最も多く、中学1年生が26人（8.5%）で最も少ない。

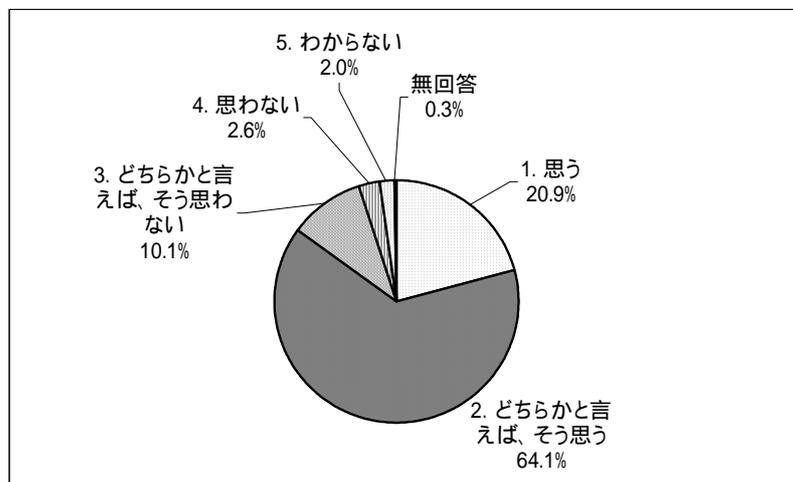
小学1年生	42	13.7%
小学2年生	39	12.7%
小学3年生	44	14.4%
小学4年生	29	9.5%
小学5年生	35	11.4%
小学6年生	27	8.8%
中学1年生	26	8.5%
中学2年生	33	10.8%
中学3年生	31	10.1%
計	306	100.0%



8. 子どもは楽しく充実した学校生活を送っているか

子どもが楽しく充実した学校生活を送っていると思うか尋ねたところ、「思う（20.9%）」「どちらかと言えば、そう思う（64.1%）」の合計が85.0%と大半を占めるが、「思わない（2.6%）」「どちらかと言えば、そう思わない（10.1%）」の合計が12.7%と、約1割が学校生活に何らかの不安を抱えている。

1. 思う	64	20.9%
2. どちらかと言えば、そう思う	196	64.1%
3. どちらかと言えば、そう思わない	31	10.1%
4. 思わない	8	2.6%
5. わからない	6	2.0%
無回答	1	0.3%
計	306	100.0%



9. 野洲市の学校教育は充実しているか

野洲市は学校教育が充実したまちであると思うか尋ねたところ、「思う(1.6%)」「どちらかと言えば、そう思う(36.6%)」の合計が38.2%となっており、「思わない(16.3%)」「どちらかと言えば、そう思わない(30.1%)」の合計46.4%を約8ポイント下回っている。

1. 思う	5	1.6%
2. どちらかと言えば、そう思う	112	36.6%
3. どちらかと言えば、そう思わない	92	30.1%
4. 思わない	50	16.3%
5. わからない	45	14.7%
無回答	2	0.7%
計	306	100.0%

